



令和2年度
佐賀市地域づくり交流会

心は密につながるさがし

～新しい生活様式に対応したこれからのまちづくり～



[期 日] 令和3年1月30日(土) 9:30~12:00

[会 場] 佐賀市立公民館等11会場(オンライン開催)

佐賀市

プログラム

時間	内容
9:30	開会あいさつ
9:35 ～10:10	<p>基調講演</p> <p>テーマ 「新しい生活様式に対応したこれからのまちづくり」</p> <p>講師 岡山NPOセンター 代表理事 石原 達也 氏</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【講師プロフィール】</p> <p>1977（昭和52）年、岡山県岡山市生まれ。</p> <p>2001年大学生のみのNPO法人設立に参画したことからNPO業界に。</p> <p>活動を続ける中で支援者を志すようになり2003年鳥取市社会福祉協議会に入職。</p> <p>Vコーディネーターを務めた後に転職し、出身地・岡山でNPO法人岡山NPOセンター事務局長に就任（現在、代表理事）。その他、（公財）みんなでつくる財団おかやま（理事）、NPO法人みんなの集落研究所（代表執行役）、（一社）全国コミュニティ財団協会（常務理事）、PS瀬戸内株式会社（代表取締役）等の設立に関わる。</p> </div>
10:10 ～10:30	<p>活動事例発表</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 赤松まちづくり協議会 2 若楠まちづくり協議会 3 東与賀まちづくり協議会 4 佐賀子ども劇場
10:30 ～10:40	休憩
10:40 ～11:55	<p>旗揚げトーク</p> <p>各会場をオンラインでつなぎ、意見を出し合います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 佐賀商工ビル 7階共用大会議室（勸興、神野、循誘、日新） ② 佐賀商工ビル 7階中会議室D・E（市民活動団体） ③ 赤松公民館 集会室（赤松、北川副、本庄、巨勢） ④ 若楠公民館 大会議室（若楠、高木瀬、兵庫） ⑤ 金立公民館 集会室（金立、久保泉） ⑥ 開成公民館 集会室（開成、鍋島、新栄） ⑦ 諸富町公民館 2階大会議室（諸富、蓮池） ⑧ 春日公民館 2階視聴覚室（春日、春日北、川上） ⑨ 松梅公民館 大会議室（松梅、富士、三瀬） ⑩ 中川副公民館 大会議室（中川副、南川副、西川副、大詫間） ⑪ 嘉瀬公民館 大会議室（嘉瀬、西与賀、東与賀、久保田）
12:00	閉会

基調講演資料

「新しい生活様式に対応した これからのまちづくり」

岡山NPOセンター代表理事

石原 達也

石原達也 主な仕事

NPO歴17年 NPO支援歴15年



NPO法人 岡山NPOセンター 代表理事・プロデューサー
ボランティア・NPO・地域活動・社会事業などの設立・経営支援
多様な主体での課題解決の仕組みづくりを促進。



地域連携



事務支援



ゆうあい（社会参加）



NPO法人 みんなの集落研究所 代表執行役

集落のためのシンクタンク。調査と政策提言・仕組み作りで地域
コミュニティの在り方を変え、進化と深化を促進。



一般社団法人 北長瀬エリアマネジメント 代表理事

JR北長瀬駅前の病院・商業施設・公園・市営住宅が開発されるエリア
におけるまちづくりを実施。エリアマネジメントを目指す。

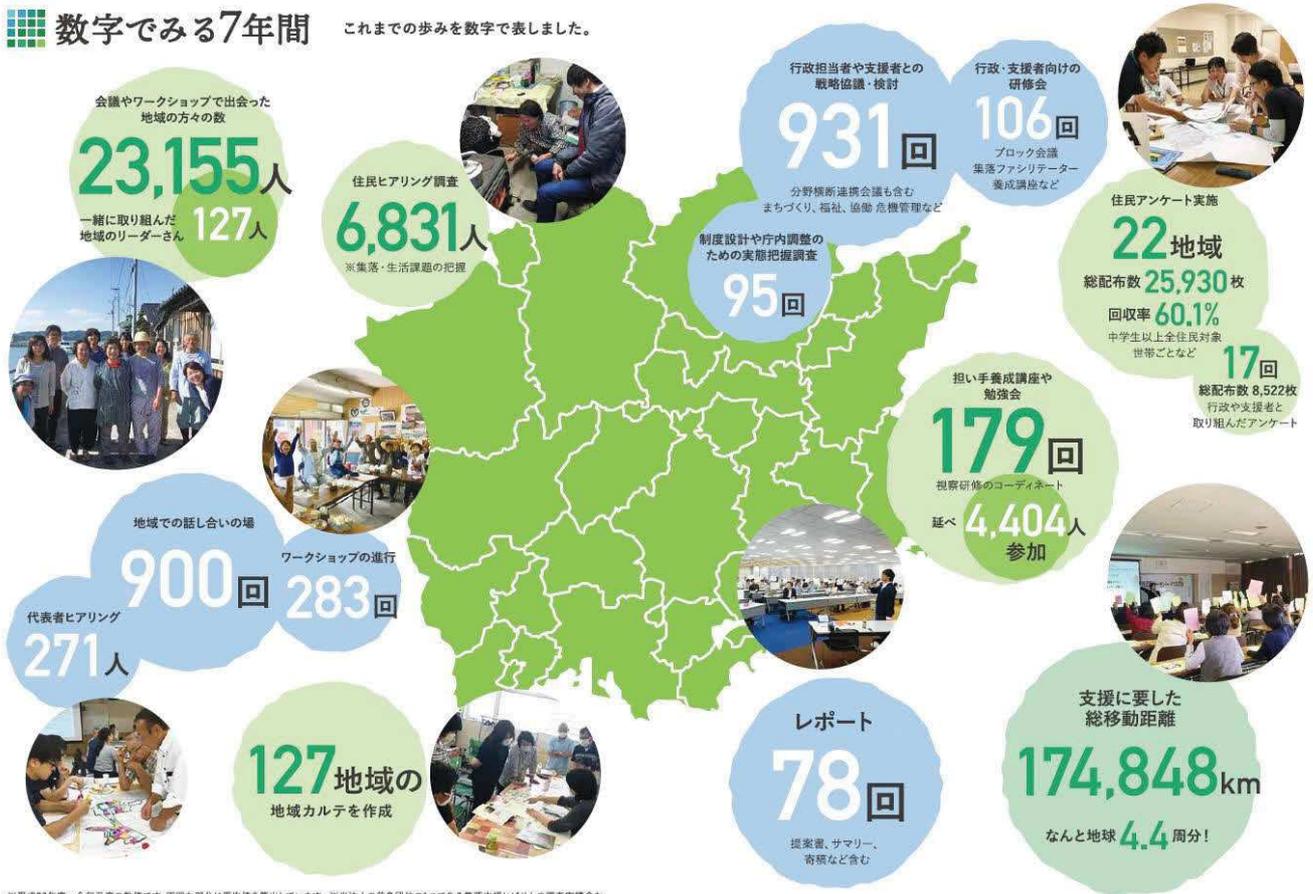


株式会社 PS瀬戸内株式会社 代表取締役社長

ソーシャル・インパクト・ボンドを核とした社会投資の案件形成と
コーディネートにより、せとうちのあたらしい資金循環を促進。

数字でみる7年間

これまでの歩みを数字で表しました。



※平成23年度一令和元年度の数字です。不明な部分は平均値を算出しています。※当法人の前身団体の1つである集落支援ヒサトの調査実績含む。

唐辛子の特産品で支事づくり！

NPO法人 てっちりこ

姫唐辛子を使用した特産品「辛美人」シリーズを生産・販売。地域のお年寄りが生産し、地元で加工し、全国に販売。（モンベルショップでも取り扱い）年間5,000万円を売り上げ、年間100万円稼ぐ高齢者も！おばあちゃんが漬けた梅干なども買い取り、おばあちゃんと商いが生まれることで元気になり、交流が生まれる。



姫とうがらし
 お試しセット
 (ドレッシング・味噌・醤油)

全国一律 送料無料!!



おばあちゃんとの取引＝商いが、

その人と地域を支える支事に。

* 「余ったものない？」 → 話が広がり材料が集まる

* 「あだらばえ」 → ほっておく栽培のものたち

* 各お家の梅干を集めて商品に！種は居眠り防止に！

* 地域に障害を持つ子がいれば作業所を。
その子たちにも製品づくりの作業を。

* 農家～お坊さんまで地域の半数は関わっている！

「居場所と出番」

「支事」

「人交密度」

田舎の
あほもの
ですが…

NPO法人 てっちりこ 元代表

NPO法人 みんなの集落研究所 会長

岡本勝光





集落による集落のためのシンクタンク(調査機関)

NPO法人 **みんなの集落研究所**

平成29年度ふるさとづくり大賞の団体表彰(総務大臣賞)をいただきました!

地域リーダー×移住若者×支援者



地域に買い物を!

地域の助け合いしゅみ

アンケートからの計画づくり

防災

つどいの場から

子ども学校交通

アンケートからの地域づくり

地域交通

空き家×居場所×移住受入

若い人も参加

運営体制の見直しを

地域のあり方を話し合う

地域の支事 支え合いと生きがい

津山市知 上加茂 津山 赤磐市 市宇治 井原市野上 瀬戸内市豊原 美作市 美作市 久米南町松 久米南町下弓削

などなど♪

新型コロナウイルスの 全国での感染拡大

2020年4月16日 緊急事態宣言・全国に拡大
2020年4月20日 岡山県内での学校一斉休校

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避け ましょう!

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

**3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!**

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ 検索

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と
十分な距離を取る!

✗ 2メートル

窓やドアを開け
こまめに換気を!

屋外でも密集するような
運動は避けましょう!
少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

飲食店でも距離を取りましょう!

- ・多人数での会食は避ける
- ・横と一つ席ばしに座る
- ・互い遠くに座る

会話をするときは
マスクをつけましょう!

5分間の会話は
1回の咳と同じ

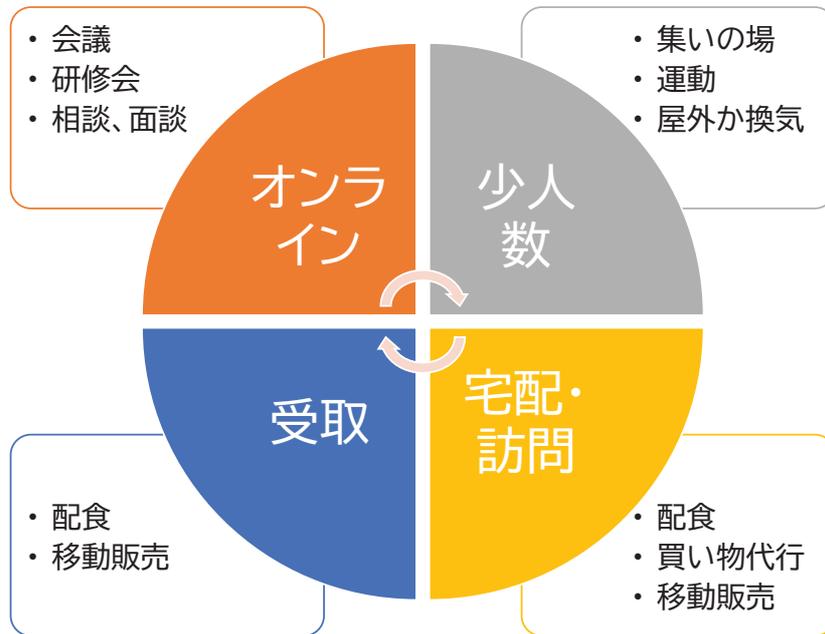
電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう!

✗

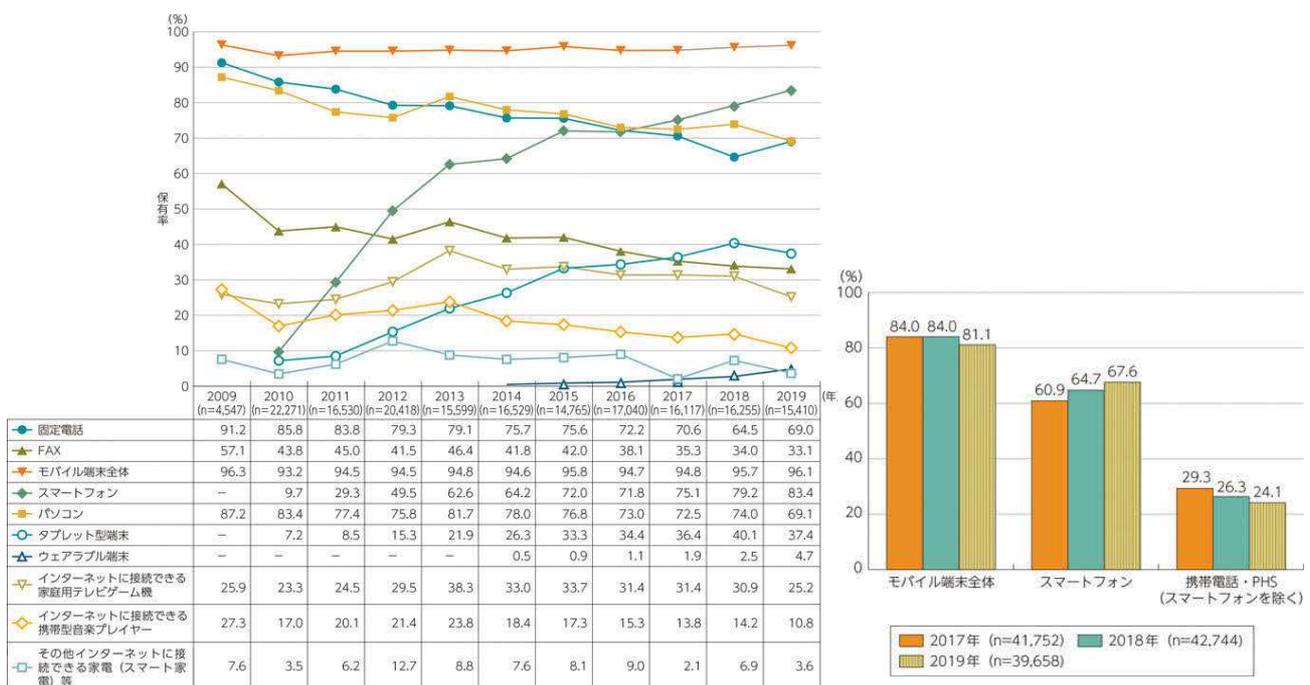
首相官邸 厚生労働省 厚生労働省フリーダイヤル
厚労省 コロナ 検索 **0120-565653**

コロナへの対応手段

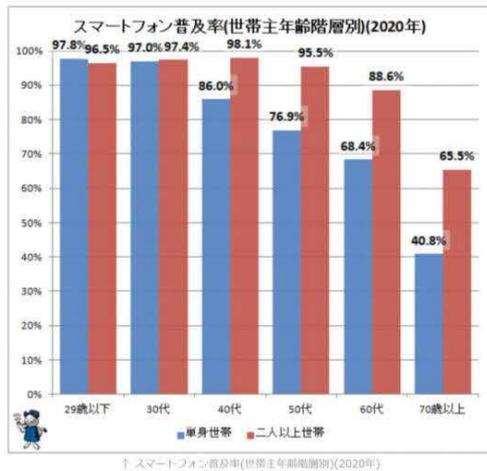
3密をさける手段を組み合わせしていく



スマートフォンの普及は急上昇

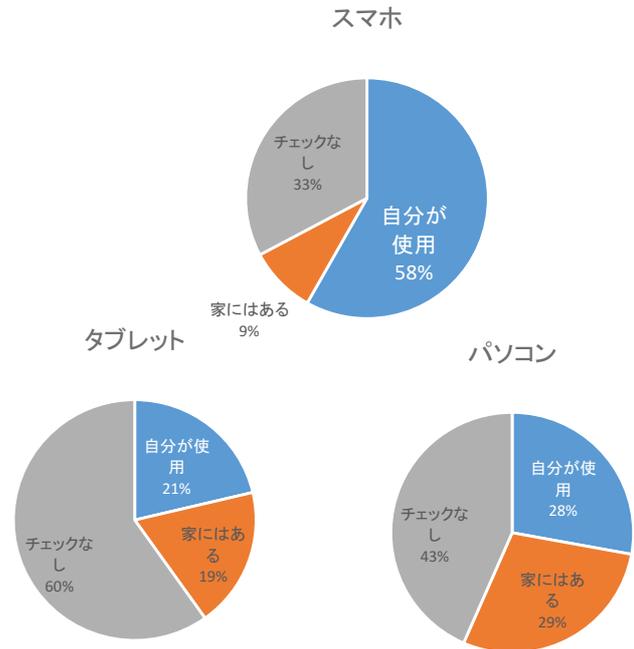


多くの方がスマートフォンを もっているか、家にある状態



スマートフォン普及率(世帯主年齢階層別)(2020年)

(出典) <https://news.yahoo.co.jp/byline/fuwarai/20200529-00179845/>



(出典)岡山・山手地区アンケート

西日本豪雨で被害のあった 倉敷市真備町での活用(ZOOMで研修)

あんどろりすのゆるっと防災
2020年4月21日

真備で実施したオンライン防災講座について、主催者の方がまとめてくれました。

「サバイバルナイト前企画を行いました。

コロナウイルス感染症の拡大のため、当初の予定を大幅に変更しました。

第1部は野菜ソムリエの川村章子さんによる、講義。

常備食が災害時にも大いに役立つことが分かりました。そして、災害時であっても、おいしさを大切にすることが必要だと学びました。

Zoomを使って川村さんのご自宅のキッチンからの講義でしたが、素敵なお話と素敵なキッチンにワクワクでした。

第2部はアウトドア防災ガイドのあんどろりすさんによるZoomでの講義。

アウトドア防災がいかに日頃から役に立つのか、日頃の過ごし方が防災につながるの分かりました。そして、災害の備えで色々な取り組みがあることも分かりました。特に、重度の障害のある方も避難できる車の存在を初めて知り、感動しました。

サツキPROJECTの活動を評価してくださり、「もっと多くの場所に広げよう」と期待を込めて仰ってくださいました。とても楽しく嬉しいお話しに、ワクワクでした。

サツキPROJECTが大切にしているのは、「避難をためらう方々が減り、一人も逃げ遅れないこと、そのための日頃の気かけがあった暮らし」です。

たとえ被災しても、みんなが無事で、安心できる関係の中で避難できて、ちょっとした工夫でおいしく食事ができたら、辛さしんどさも半減しますね。

企画内容の急な変更にくぐり変更でみなさまにご迷惑おかけし申し訳ありませんでした。

Zoomを使うことになるとは、夢にも思っていませんでしたが、今回の企画が成功したのも講師を受けてくださった川村さんあんどろりすさん、コーディネーターをしてくださった磯打先生、Zoomのサポートをしてくださった箭田まちづくりの有志の方々、ピースウィンズジャパンの皆様、そして参加くださった方々の温かいお気持ちのおかげです。みなさまに感謝です。本当にありがとうございました。

次回はZoomではなく、サバイバルナイト本番で、実際にお会いできる日を楽しみにしています。」

<https://readyfor.jp/.../gogosatsuki/announcements/130264...>

ところが、真備町箭田地区の皆さんは違いました。私は講演した後に知ったのですが、地域でITクラブという学習会を月に1回開いている大熊正喜さんと池田朋文さん(箭田まちづくり協議会を応援する会)を中心に皆さんが「Zoomとは何か」ということから勉強されたのだそうです。そして講演1時間前から会議室をオープンし、使い方を練習した上で、私の講演となりました。

何も知らずにZoomに入った私がまず驚かされたのは、背景写真がすてきな風景写真になっている方もいらっしゃったことです。スキル高い! 驚いたのはそれだけじゃありませんでした。講演中、質問やご意見がチャットにいっぱい入るのでした。



真備町箭田地区ITチームが集まったみなさん

アウトドア防災ガイドのあんどろりすさん、コーディネーターの磯打先生、Zoomのサポートをしてくださった箭田まちづくりの有志の方々、ピースウィンズジャパンの皆様、そして参加くださった方々の温かいお気持ちのおかげです。みなさまに感謝です。本当にありがとうございました。

高齢者にWeb会議が無理って思い込まずに!

高齢者のWeb会議やオンライン研修の活用を促すために

あんどろりす

(出典)あんどろりすさんのfacebook、サイトより 7

その他の倉敷市真備町での活用

ツール	誰	何を
ZOOM	箭田まちづくり協議会	・防災会議 ・防災研修(避難訓練(要支援者含む))
CISCO Webex ZOOM	岡田まちづくり協議会 兵庫県立大学・岐阜大学等サポートチーム	・防災冊子作成編集会議
ZOOM	真備連絡会	・真備地区内医療福祉事業者連絡会
ZOOM	倉敷市社協・支え合いセンター	・真備総合仮設:愛燦燦サロン
ZOOM	中央大学	・岡田仮設サロン:ふらっと真備
ZOOM	日赤ボランティア	・体操教室
LINE	ぶどうの家スマホ教室実行委員会	・スマホ教室
LINE	下二万矢形東谷住民	・地域サロン
ZOOM	男性介護者の会	・講座
ZOOM	ケアカフェin真備	・勉強会
ZOOM Youtube	かわべ未来ミーティング実行委員会	・定例会議 ・防災まち歩きや成果発表

14

スマホのつかい方を学びあう

久米南町山手地区サロン

・毎週火曜日10時～17時まで
山手集会所に婆たちが集まっているよ
・最近、スマホに買い替えて
県外にお嫁に行った山手っ子と
ビデオ電話しとるんじゃ♪

つながった!つながった!
元気にしとるかね?

使い方忘れそうじゃね...
毎朝、家族に「おはよう」
だけでもLINEで送ってみよう!!

102歳

84歳

79歳

91歳

97歳

72歳

平均年齢87.5歳!!

厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に気をつけて
通いの場を開催するための留意点

開催の可否や実施方法については、地域における新型コロナウイルス感染症の流行状況を把握し、市町村の保健師や感染症に詳しい専門職と相談しながら判断しましょう。

通いの場を開催するために、「3つの密（密閉、密集、密接）」を避ける、「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」が大切です

～感染拡大を防ぐためのポイント～

- 自分自身の健康管理にも十分配慮するようにしましょう
- 参加者の体温や体調の確認を行い、参加者名簿を作成し、記録するようにしましょう
注：発熱などが認められる場合には、参加を断りましょう
- 参加者には、「毎日体温を計測する」「症状がなくてもマスクを着用する」「水と石けんで丁寧な手洗いをするように呼びかけましょう
- 市町村の担当者などと連携し、参加しなくなった方の把握や参加の呼びかけを行うことも大切です

開催中は、

- 複数の人が触れる手すり、ドアノブ、テーブル、椅子などは、適宜、塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム0.05%）やアルコールなどで消毒を行いましょう
- 公民館など室内で開催する場合は、1時間に2回以上の換気を行いましょう
- 参加者同士の間隔は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空けるようにしましょう
- 会話をする際は、正面に立たないように、注意を促しましょう
- 文字（紙）や録音、マイクなどを活用するなど、大きな声を出す機会を少なくするように工夫しましょう

～体操など身体を動かす活動をする場合～

- マスクを着けて運動をする場合は、身体への負荷が著しく大きくなりやすいため、無理のないよう負荷を下げたり、休憩を取るなどの配慮をしましょう
注：公園など屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合は、マスクは必ずしましょう
- 熱中症予防のため、こまめに水分補給や室温調整などを行うよう気をつけましょう

～飲食を伴う活動をする場合～

- 座席の配置は、横並びで座るなどの工夫を行い、距離をとるように調整しましょう
- 会食等では、料理は個別に配膳し、茶葉は個別包装されたものを用意しましょう
- 食器やコップ、箸などは、使い捨てにしたり、洗剤でしっかりと洗いましょう

自宅でもできる全国のご当地体操の動画やリーフレットの情報を掲載しています

厚生労働省 体操 検索

令和2年6月

厚生労働省
新型コロナウイルス感染症に気をつけて
通いの場に参加するための留意点

「3つの密（密閉、密集、密接）」を避け、「人と人の距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い」を心がけましょう

～感染拡大を防ぐためのポイント～

- 毎日、体温を計測し、体調を確認しましょう
- 体調の悪いときは休みましょう
- 症状がなくてもマスクを着用しましょう
- こまめに、水と石けんで丁寧な手洗いを心がけましょう
- 1時間に2回以上の換気をしましょう
- お互いの距離は、互いに手を伸ばしたら手が届く範囲以上空けましょう
- 会話をする際は、正面に立たないように気をつけましょう

～体操など身体を動かす時～

- マスクを着けて運動をする場合は、無理をせず、早めに休憩を取りましょう
- 熱中症予防のため、こまめに水分補給や室温を調整しましょう

～食べたり、飲んだりする時～

- 座席は、横並びで座るなどの工夫を行いましょう
- 料理は個々に分けて、茶葉は個別包装されたものを選びましょう
- 食器・コップ・箸などは、使い捨てにしたり、洗剤で洗いましょう

自宅でもできる全国のご当地体操の動画やリーフレットの情報を掲載しています

詳しくはこちら

厚生労働省 体操 検索

QRコード読み取り

令和2年6月

地域の施設も企業も学生も！

吉備陵南まちかど博物館（岡山市）

2つの町内会の有志で結成する実行委員会が開く地域のお宝を公開する一日イベントに、2万人が参加！
お寺の檀家や学生など600人のボランティアが運営し、貴重な掛け軸なら中学生が作成したジオラマ、手作り料理などを家を開いて展示・出店。
このつながりで防災訓練など！



オンラインまちかど博物館2020

YouTubeチャンネル



新型コロナ禍における地域の現状

【マイナスの影響】

- ① 三密回避のための会合等
開催困難



- ② ①による影響



- ③ 事業者への影響



【プラスの可能性】

- ① SNSなどICT技術の導入



- ② 地域活動の価値再確認



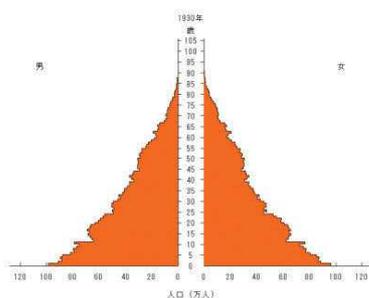
- ③ 移動販売、共同購入の重要性



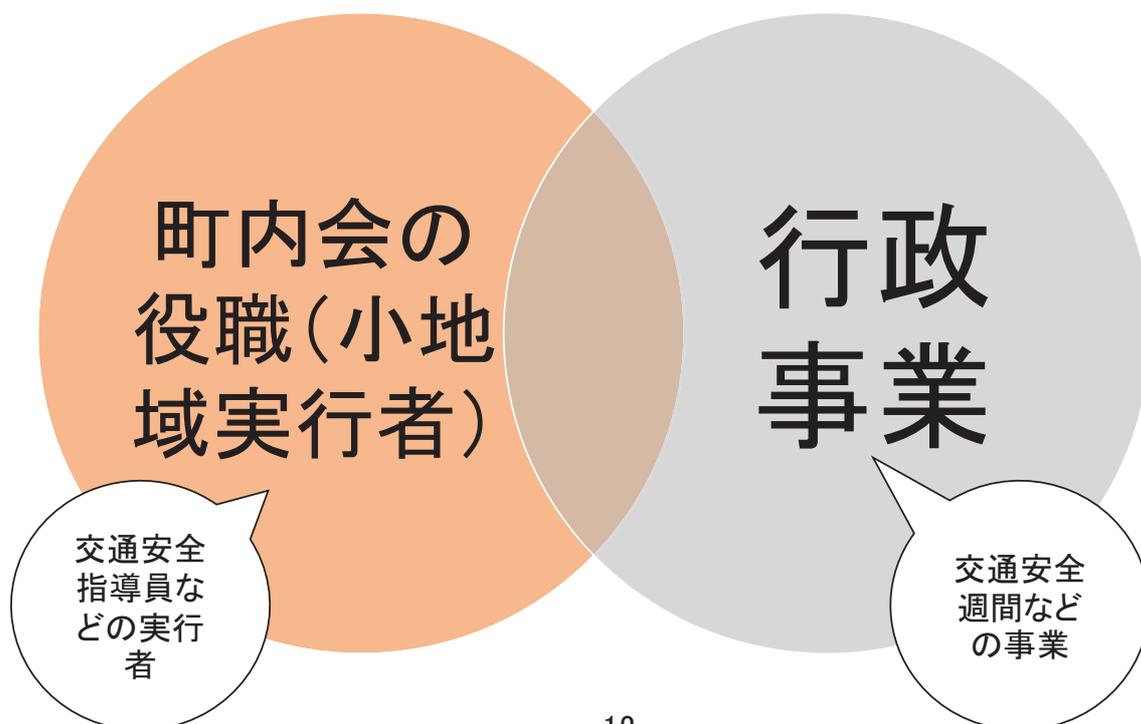
コミュニティは生活の仕組み

人口減少
少子高齢社会
一極集中

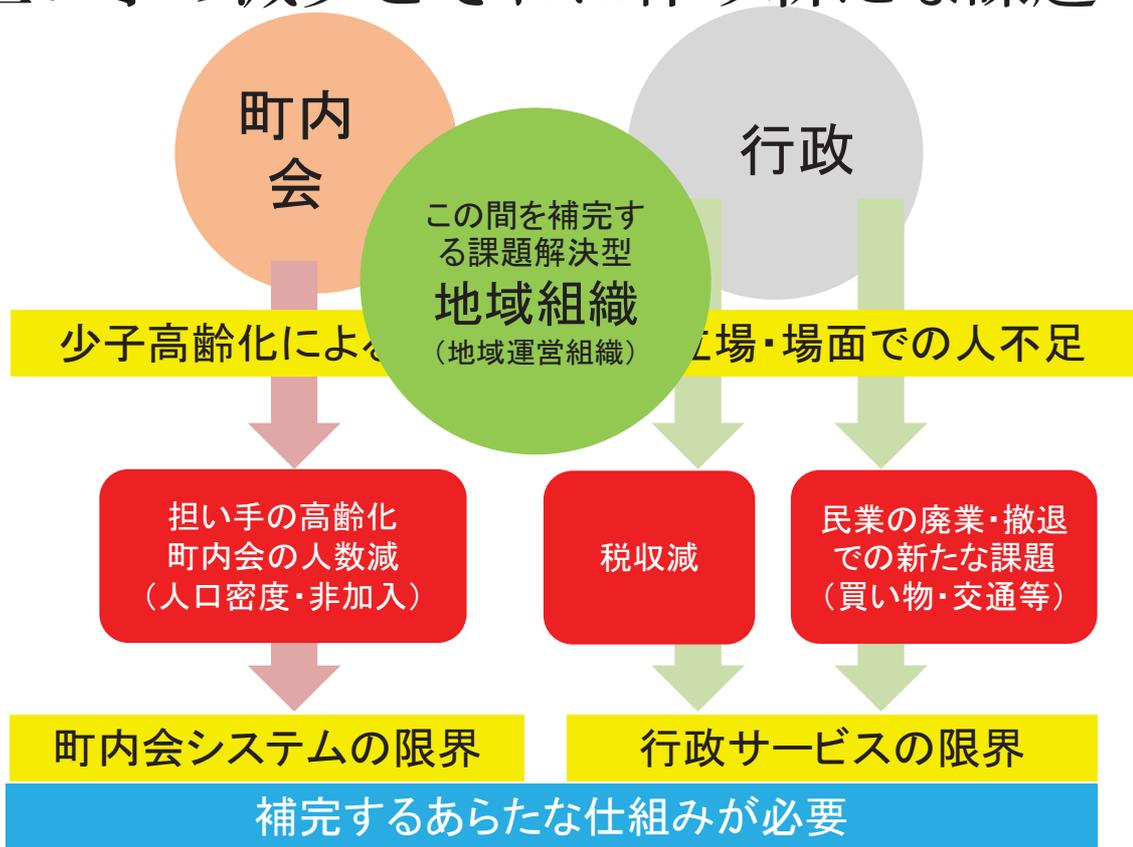
ライフスタイルの多様化
コミュニティの変化
総中流社会の終焉



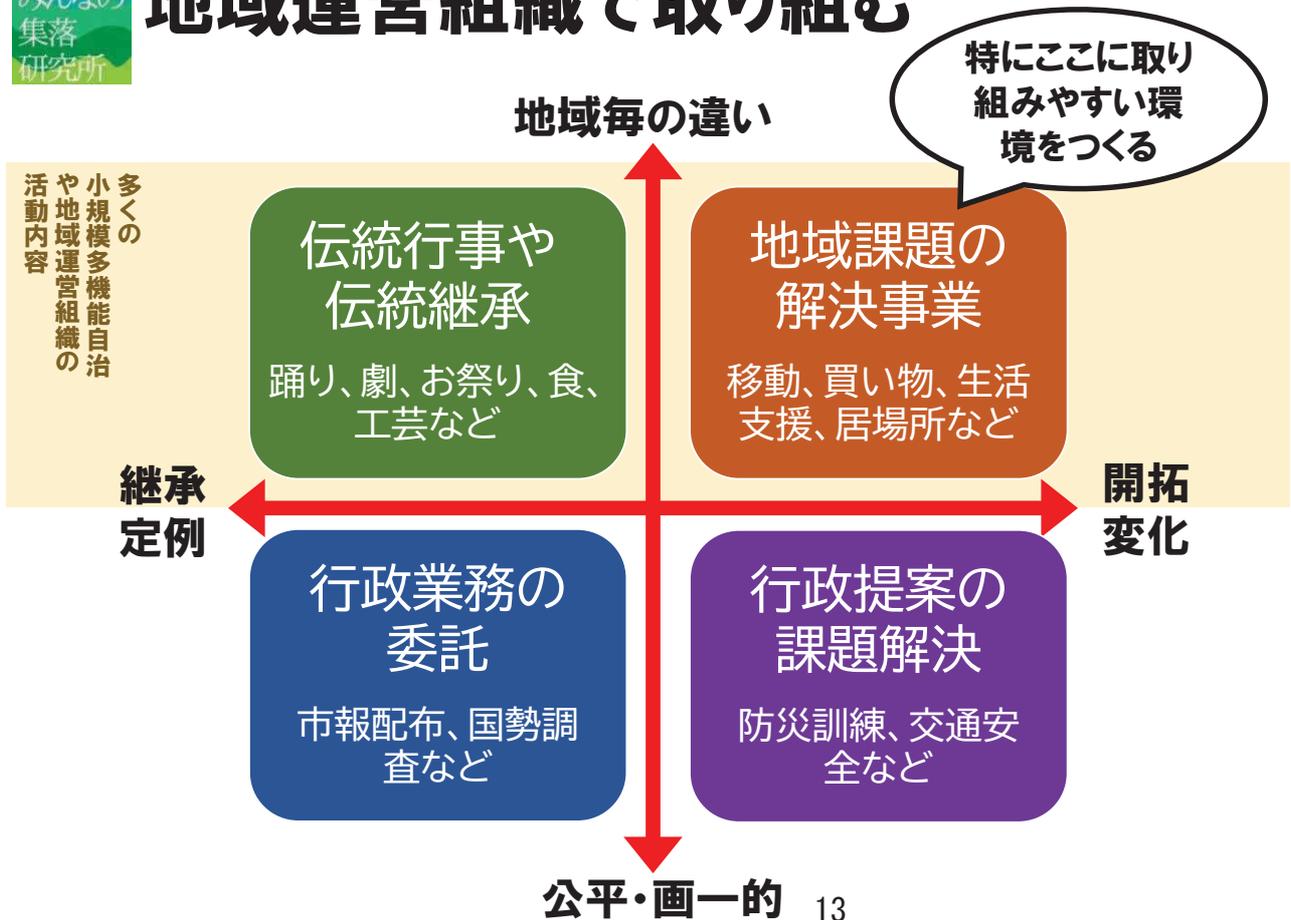
これまでの地域を支える仕組み (公助と互助：行政と町内会の両輪)



担い手の減少とそれに伴う新たな課題

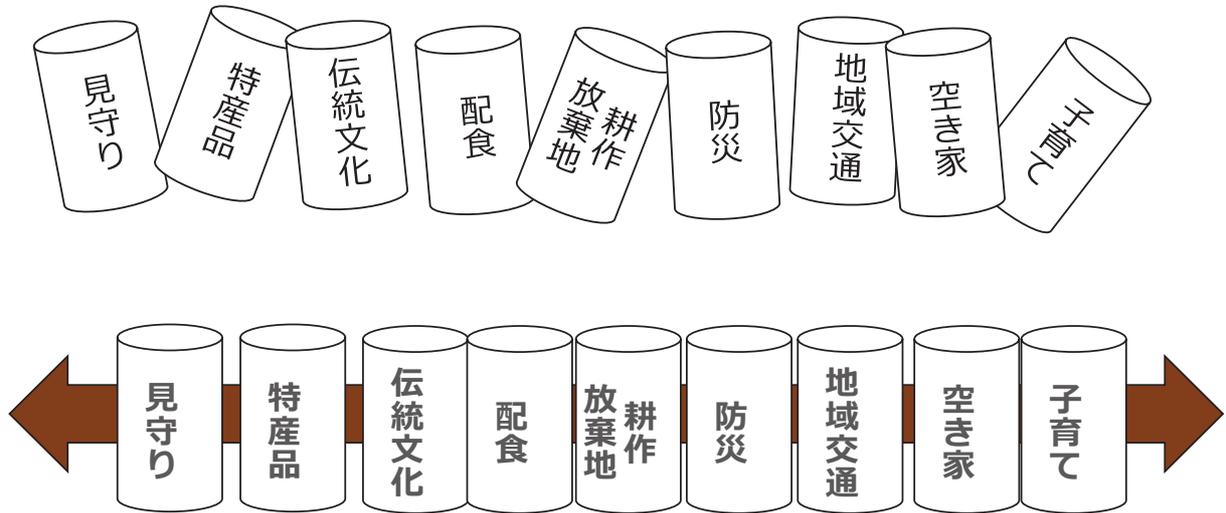


地域運営組織で取り組む



地域運営組織で横断的な取り組みを

分野を横断した複合的な組織、人材、拠点のしくみ



地域の一
体的な取
組み
を
支
え
る



地域づくり応援事業 津山市の場合

◆地域づくり応援事業が目指すもの

- ・地域の町内会、各種団体、個人等で構成され、地域の総意が反映されること
⇒「1戸1票制」から「1人1票制」へ
- ・地域の課題を共有し、その解決に向けて幅広い分野の活動を進めること
- ・地域内の誰もが運営に参画でき、住民一人一人が力を発揮しながら取り組めるしくみをつくること

◆地域づくり応援事業の対象地域

- ・連合町内会での地域単位
- ・小地域ケア会議、自主防災組織が立ち上がっていて取り組んでいる地域

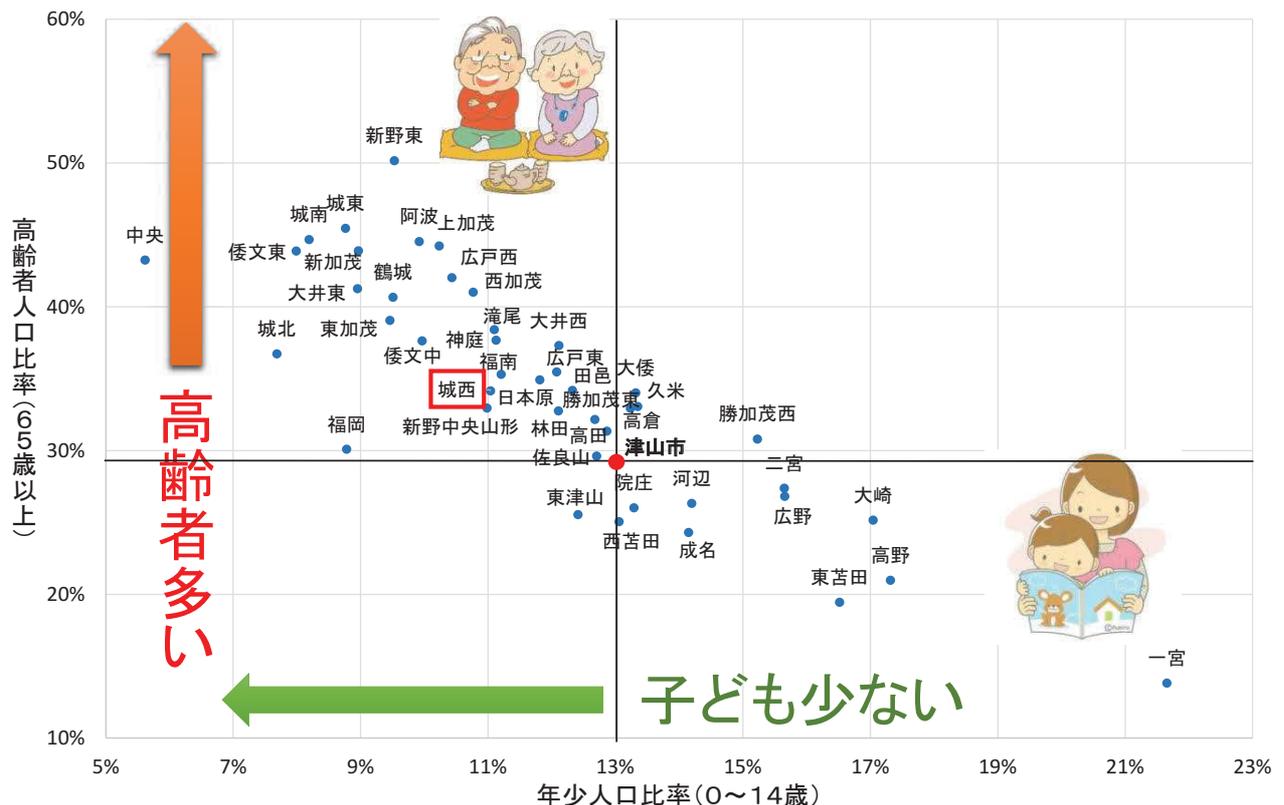
◆地域づくり応援事業のスタート

平成20年から住民自治協議会事業の名称でモデル事業スタート。
令和元年度より、地域づくり応援事業に名称が変更。
平成30年度時点 12地区で住民自治協議会が立ち上が

津山市第5次総合計画の第3章(地域活動の推進と地域力の強化)においても住民自治協議会の基本方針が明記。

津山市

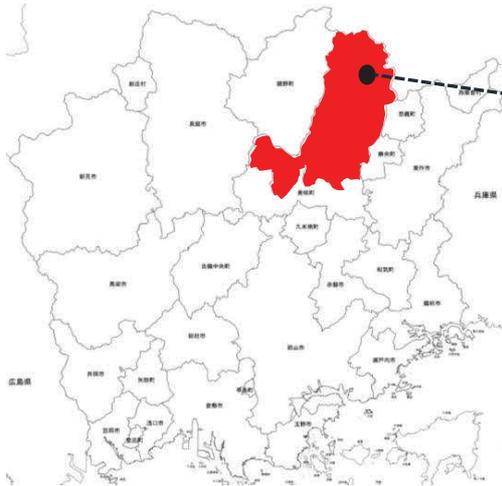
高齢者人口比率(65歳以上) × 年少人口比率(0~14歳)



津山市城西 概要

津山市

人口 : 10,3746人
高齢化率 : 28.6%
世帯数 : 40,168世帯
(平成27年国勢調査)



津山市支部単位地図



城西地区

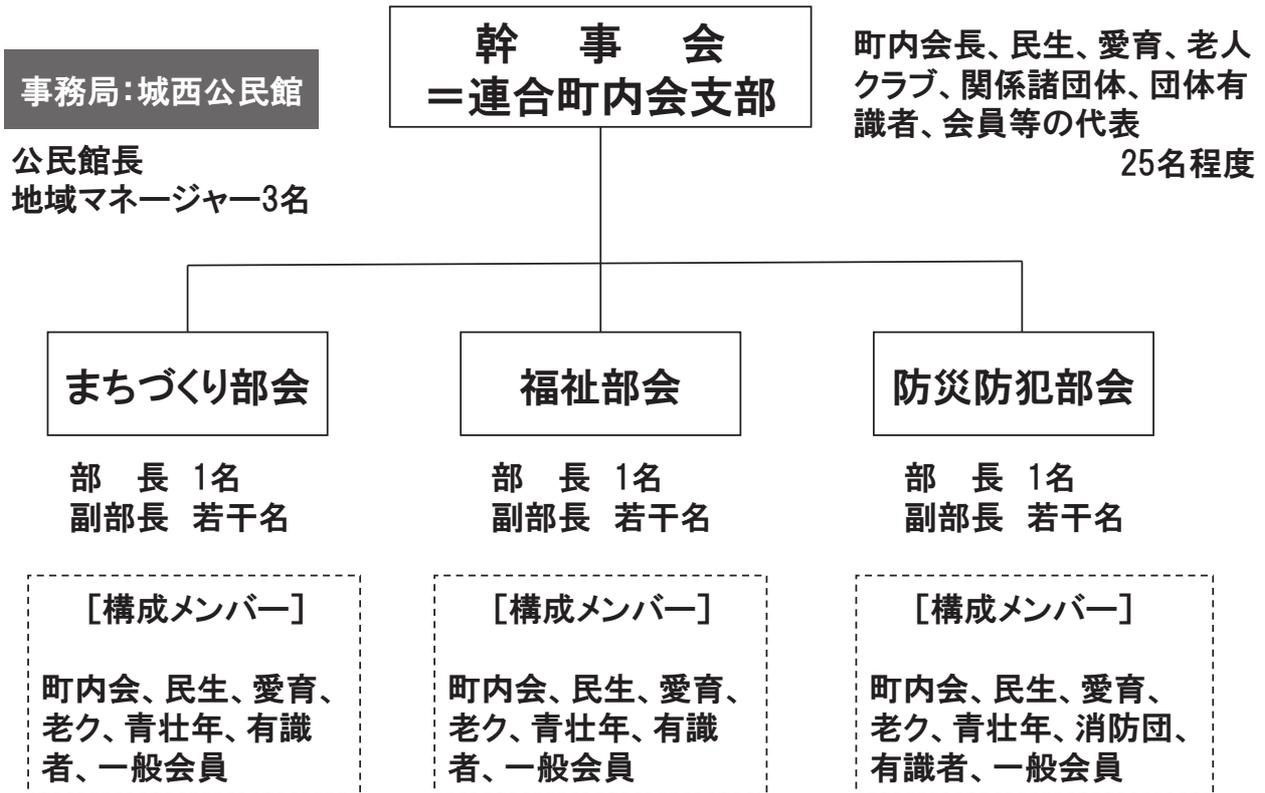
構成町内会: 15町内会
人口: 4,928人 高齢化率: 34.2%
世帯数: 1,979世帯 (平成27年国勢調査)



協議会としてのスタート

- 平成8年から「津山・城西まるごと博物館フェア」を開催してきたが、年に1回のイベントだけでは地域が変わらない！イベントと合わせて、日常的な取り組みが必要。
- 比較的街中ではあるが、旧出雲街道沿いの高齢化率は年々増加し、1人暮らし高齢者の方も増えてきた。5年後、10年後を見据えて、城西地区全体で話し合って考えていく必要があるのではないか。
- 地域には「町内会」「民生委員」「愛育委員」「老人クラブ」「青壮年」「消防団」など多くの組織がある。それぞれの得意分野を結束させれば、地区全体の結束も出てくるはず！

城西まちづくり協議会 3部会



福祉部会の取り組み

【福祉部会 活動一覧】 定例会:毎月第2木曜日

- ①生活支援事業「おたすけ隊」
- ②まちばの寺子屋(毎週土曜日開催)
- ③子育てサロン「さくらんぼ」
- ④城西☆ふれ愛広場
(毎月第1・3火曜日/第2・4土曜日開催)
- ⑤見守り台帳の作成
(災害時の緊急連絡、安否確認)



ふれ愛カフェ

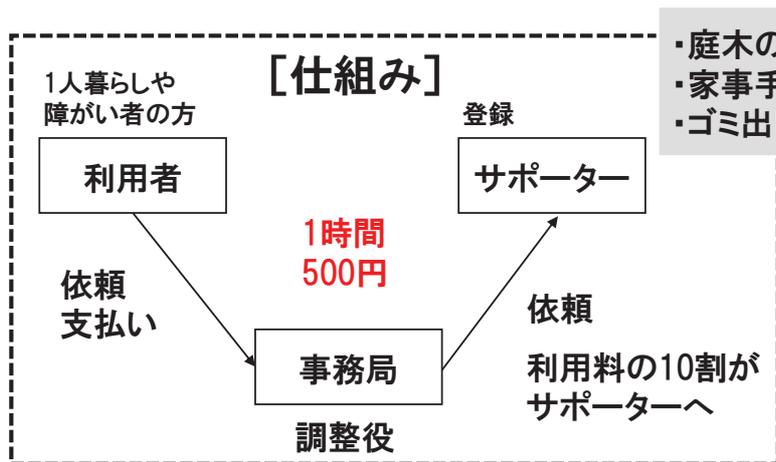


まちばの
寺子屋

福祉部会の取り組み

【城西お助け隊の結成】

平成25年に県の事業で住民ニーズ調査を実施。家の簡単な修繕や家事全般の手伝いなど、ヘルパー利用では対応できない生活ニーズがあることが調査で分かり、平成27年11月から城西支援事業「おたすけ隊」の運営を開始。



【活動実績】

H27 13回
H29 115回

年々活動依頼が増加！

子どもと保護者の居場所づくり

子育てサロン「さくらんぼ」

平成26年～スタート

【運営スタッフ】

地域マネージャー＋地域住民

【開催日】

毎週火曜日

【活動内容】

季節の行事、読み聞かせ、
育児相談など



「寺子屋ランチ」

平成29年～スタート

【運営スタッフ】

地域マネージャー＋地域住民

【開催日】

第4土曜日

【活動内容】

働くお母さんを助け、子どもたちの居場所。手作りの昼食を用意



子どもと保護者の居場所づくり

子育てサロン「さくらんぼ」

平成26年～スタート

【

【効果】

【

子育てしていたお母さんの
第二子を生む数が増えた！

【活動内容】

季節の行事、読み聞かせ、
育児相談など



「寺子屋ランチ」

平成29年～スタート

【

【効果】

【

地域の居場所＝公民館が
子どもたちにも浸透。
小学生の時に世話になった子
どもが中学生になって、
自主的にお手伝い！

【

手作りの昼食を用意



まちづくり部会の取り組み

【まちづくり部会 活動一覧】 定例会:毎月最終火曜

NPO法人つやま城西ほりおこし隊(平成21年5月開始,法人化は平成24年6月)と一緒に、城西地区の歴史と文化を継承するまちづくり活動を進めています。

①津山・城西まるごと博物館フェア
平成8年～

②作州民芸館 津山まちの駅城西
指定管理での運営 令和元年度～

③野菜と魚の市 平成24年～



野菜と魚の市

作州民芸館 津山まちの駅城西

2019年4月1日にオープンした「津山まちの駅城西」は、「作州民芸館」の中に出来たまちの駅です。地元のグループが市から借り受けて運営しておられます。地元でとれた野菜や、手作り総菜や弁当、子ども達に人気の駄菓子などを販売しています。



また、喫茶コーナーもあり、歩き疲れた方がちょっと腰かけてゆっくり出来るし、トイレもあるので大変便利な場所だと思います。
(2019年4月6日撮影)

『津山瓦版』www.e-tsuyama.com

作州民芸館 津山まちの駅城西



作州民芸館



手作り品コーナー



作州民芸館 津山まちの駅城西



喫茶コーナー



子どもに人気の駄菓子コーナー



お茶も販売



地元で採れた野菜『津山瓦版』www.e-tsuyama.com

防災防犯部会の取り組み

【防災防犯部会 活動一覧】 定例会:毎月第3火曜

①城西支部防災計画づくり

平成28年12月～

②災害時緊急連絡網作成

平成30年～

③城西支部防災訓練 11月

④城西支部自主防災防犯組織

平成25年～



まちあるきワーク



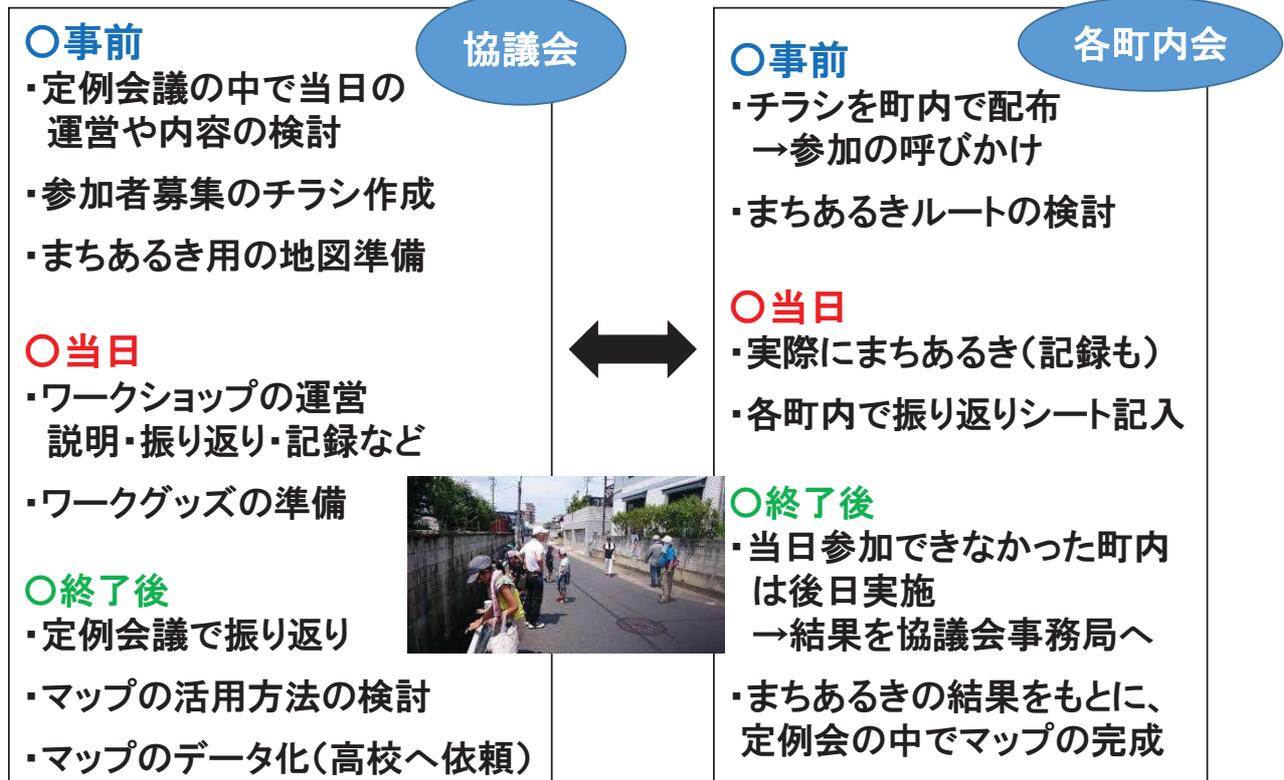
城西支部防災訓練



定例会の様子

協議会と各町内会との関わり

防災防犯部会で実施した「まちあるき防災ワークショップ」の場合・・・



協議会と各町内会との関わり

実際に災害が起こった際、**協議会**としては・・・

- ①災害時対応フロー図にのっとり、協議会事務局で対応協議
- ②災害時緊急連絡網で対応方法を部員に伝達
- ③避難所開設になった場合は、避難所のルールにのっとり、部員を中心に運営
- ④各町内の避難状況や災害状況、救援物資の必要の有無を協議会事務局の集約する

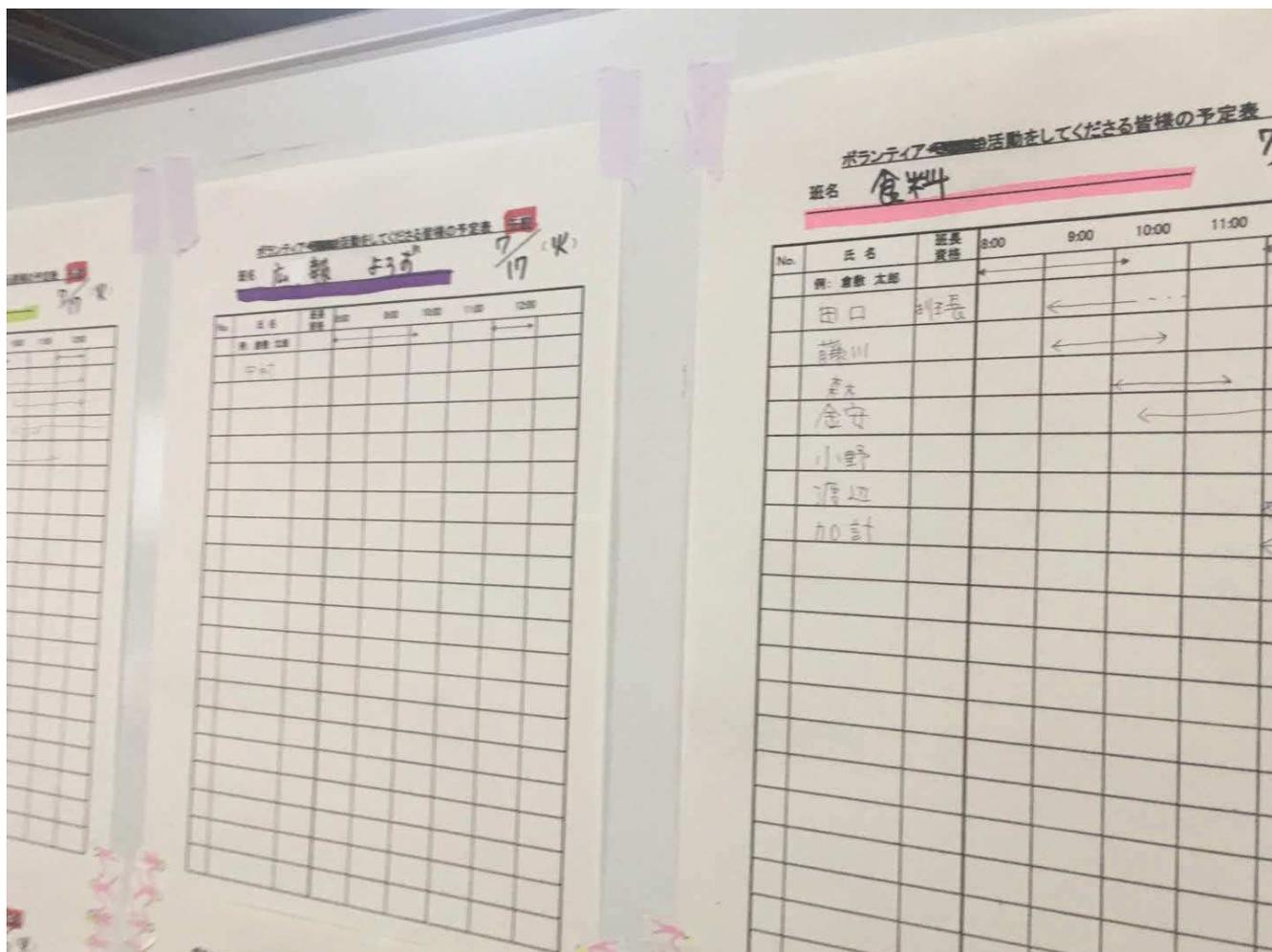
一方、**町内会**では・・・

- ・各町内会で城西支部指定の避難場所に避難。
もし、指定の避難場所まで行くのが難しい、適切ではない場合は最寄りの町内で決めた避難場所に避難
⇒その場合は、協議会事務局に必ず連絡し、情報共有









社会のステージを変え、
つながり
解決を実現する
社会に。



課題を明らかにし、足りないものと資源を把握し、
解決のためのつながりデザインする。

地域的コロナ感染による社会課題??



コロナ禍での災害支援



全国と岡山
と熊本のママによる
連携

11日には
第1期の
助成決定
10~50万円・
15団体

オンライン
で支援



7/29 (水) 19:00~20:30
WEB ZOOM開催での開催です
30分間の入室可能 参加費 無料

【参加費】無料
【会場】ZOOM
【講師】熊本のママ 代表 林 信貴
【司会】熊本のママ 代表 林 信貴

【参加者】熊本のママ 代表 林 信貴
熊本のママ 代表 林 信貴
熊本のママ 代表 林 信貴

**サンサポート
くまもと**
with
被災地親子支援
被災地の困り事を
LINEを使って集めています！
支援物資のリクエスト、欲出し希望など
なんでも気軽にLINEしてください！
子育て世代以外からの連絡も歓迎です。

登録したら
まずはスタンプを
送信してね！

検索ID @746rgdgv



全国と岡山
と宮崎と熊
本の連携

災害 ボランティアコーディネーション
今
のうちに
知ろう！
備えよう！

集中講義！

【開催日時】
8月14日(土) 18:00~20:00
8月15日(日) 10:00~12:00
8月16日(月) 10:00~12:00

おかやま親子応援プロジェクト

連携して親子・子どもの育ちとお互いを支える。



#中国 #岡山県 #社会にいいこと #地域文化 #まちづくり #子ども・教育 #医療・福祉 #障がい #フレ1岡山 #新型コロナウイルス

#だれもひとりではない | おかやま親子応援プロジェクト



支援総額
3,752,000円 目標金額 3,000,000円

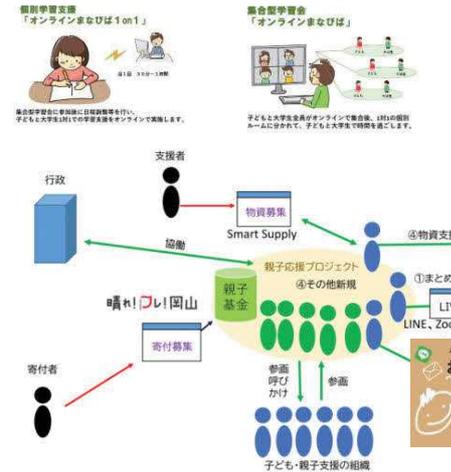
支援者 募集終了日
422人 2020年6月25日

プロジェクトは成立しました!

育ちを止めるな!



新型コロナウイルスから子どもたちの育つ機会と未来を守ろう! 宣言



妊婦さんに
妊娠中でも安心できる
マスクを
届けたい

約1,400人

今夜、食べるものもない

児童扶養手当、就学援助受給世帯

新型コロナウイルスは、大切な命や仕事を奪うだけでなく、学校の授業を止め、子どもたちの学びがない、その程度のことだけに止まらず、子どもも受け止められない状況に陥っています。

支えることの無いように、活動の仕方を変えました。その中で、オンラインでの活動も可視性も高まりました。一方で、リアルな多くの団体と、そして子どもたちと共に、「新型コロナウイルス防止の取り組みはしっかりと行いながら、子どもたちの機会を守るために、あらゆる活動の実行と、活動の再開を、ここにあらためて宣言します。」

おかやま親子応援プロジェクト 参加団体、賛助者一同

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

寄付の食品 24時間無料受け取り

岡山に「公共冷蔵庫」

コミュニティ・フリッジのイメージ

スーパー、飲食店

個人

提供 (生鮮品、加工食品、日用品など)

受け取り (いつでも無料で利用可能)

公共スペースに常設

コロナ禍で困難を抱える子育て家庭や学生

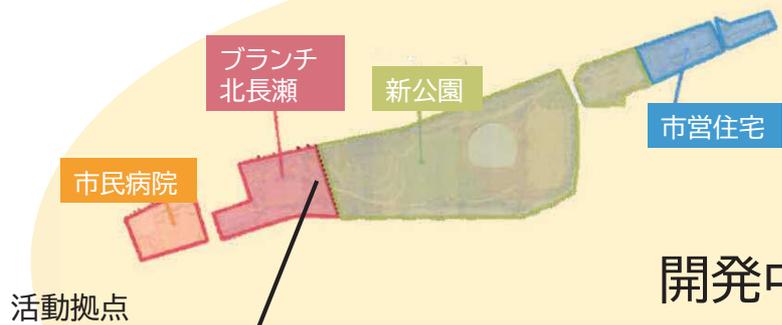
コロナ困窮者 国内初運用へ

民間団体支援

まちづくりの一般「北長瀬エリアマネジ(岡山市北区表町)る。まずは複合商業ランチ岡山北長瀬(表町)の一角に冷蔵庫を備えた施設を設置。スーパーや飲食店、生鮮品や余剰商個人からも未開封の缶詰、菓子などのほかや紙おむつといった寄付を募る。支援品は登録制とし、24時間も無料で利用できる。11月中にも試験め、年内の本格スタートを目指す。

コロナ禍での生活として岡山県内では食堂運営団体などが食品やカップ麺、缶詰を募り、希望者「フードドライブ」コミュニティ・フリッジに、常設型で随時生鮮品も提供できる無人運用のため、

(一社)北長瀬エリアマネジメントとは？



開発中の北長瀬駅前及びその周辺エリアのまちづくりに取り組む民間組織

活動拠点

【コンセプト】
あたらしいまちの形を考える
あたらしいふつう

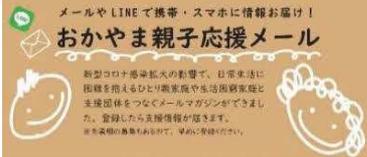
HASHTAG

個人のあたらしい生き方を応援する

- ・フリーランス、副業、小商い支援
- ・学生(高校生、大学生、専門学生)支援
- ・単身者、夫婦のみ世帯支援
- ・シングル支援(離婚して子育てする方)

→セミナー、イベント、場の提供など

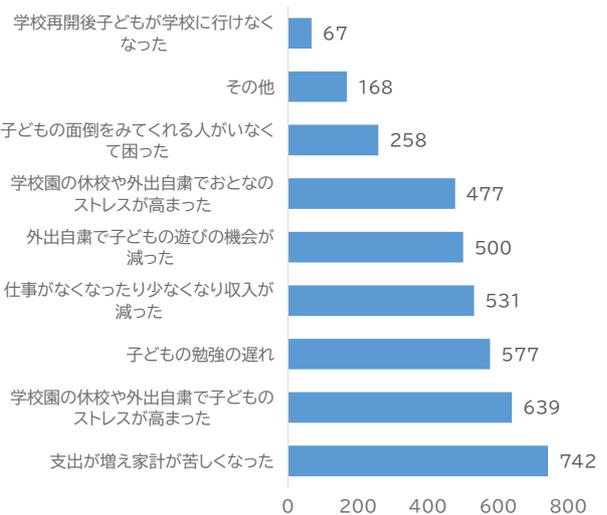
この取り組みをはじめる理由



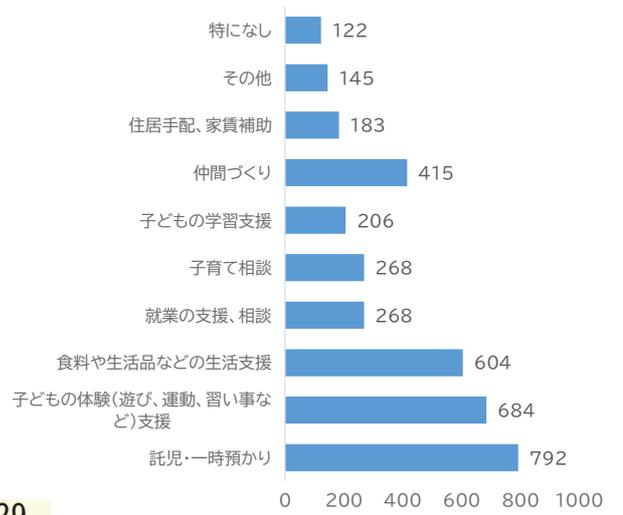
登録時アンケート結果

対象:児童扶養手当受給世帯・就学援助世帯(1,513件)

困りごとの内容 ※複数選択可



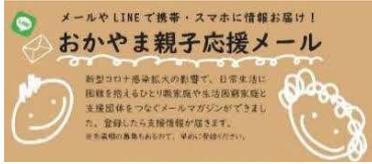
必要な支援 ※複数選択可





KITANAGASE Community Fridge

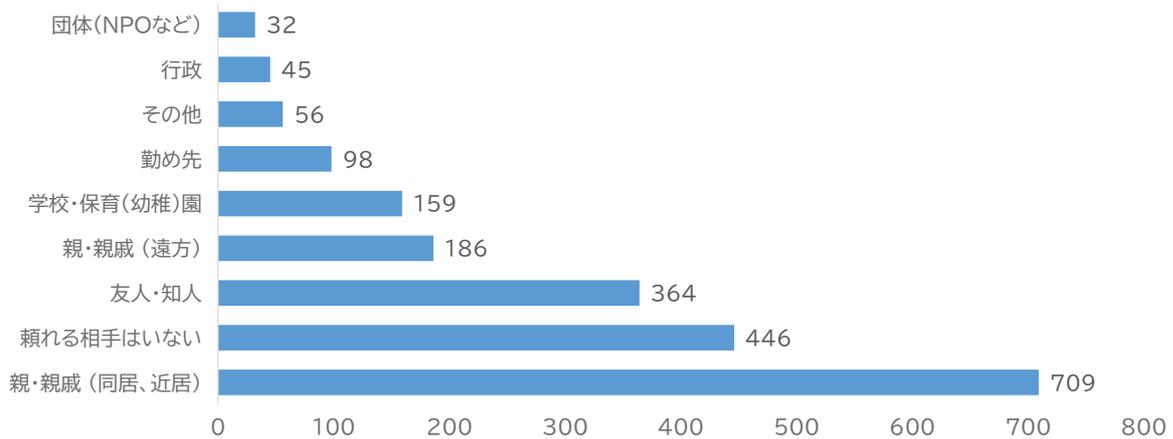
この取り組みをはじめめる理由



登録時アンケート結果

対象:児童扶養手当受給世帯・就学援助世帯(1,513件)

困りごとがあった時の頼れる相手 ※複数選択可



KITANAGASE Community Fridge

コミュニティフリッジとは？

日本初



コミュニティ・フリッジとは？(コミュニティ・フリッジの歴史)

コミュニティフリッジ(CF)とは、コミュニティ全体で使える、公共の冷蔵庫のこと。

コミュニティフリッジのコンセプトは、2012年にドイツ・ベルリンで「フードシェアリング」というグループが始まりました。フードシェアリングは、市内の食品関連事業者から食品を受け取り、市内各所に設置された棚や冷蔵庫に受け取った食品を置き、それを誰もが自由に摂取できる「食品廃棄削減による環境保護活動」です。

2015年にはスペインで開始されました。イギリスでは、2016年にFromeという町のEdventureと呼ばれるコミュニティ起業団体の生徒が町と一緒に、コミュニティフリッジを設置し、その活動を始めました。その後、90を超えるコミュニティフリッジがイギリス国内で設置され、この活動はインド、ポリビア、イスラエル、ニュージーランドと広がっています。

※日本では北長瀬の取り組みが(おそらく)初めてです。



2020年11月18日よりテスト運転を開始。
2020年11月20日に来賓で岡山市長にも
お越し頂き、除幕式を行いました。
個人、企業、農家の方など、様々な方より
ご支援いただいています。



KITANAGASE Community Fridge

北長瀬コミュニティフリッジ(地域みんなの冷蔵庫)

5つのポイント

お店で食品を寄付できる仕組み。

商店・企業

登録寄付者制。

個人



食材・日用品の寄付

生鮮品など

加工食品、日用品など

ランチ内に設置。
電子キーで利用。
もしもの時の保険にも加入。



人目を気にせず、
いつでも食材・日用品を
受取りに行ける

食品・日用品の支援



コロナで困難を抱える
親子・学生など(登録制)

ポイント5
フードギフト
お店で寄付できる仕組み。

食品や日用品をお店で買ってすぐに寄付できる仕組みを導入。親子にプレゼント。

ポイント4
提供者も原則、登録制。

食品や日用品を寄付くださる方(個人、商店)には登録をいただき、コミュニケーションを取りながら実施。お互いの安全管理。

ポイント3
電子ロックとデータベースで寄付品管理。

冷蔵庫設置の場所には登録者だけ入れる電子ロックを設置。食品はオンラインのデータベースで管理。

ポイント2
駐車場直結で人目を気にせず24時間。

ランチ内と駐車場と直結した場所に置き、モール内に入らず24時間、利用可能。

ポイント1
提供する家庭は登録制。

おかやま親子応援メール登録者やハッシュタグ岡山の学生登録者、連携NPOの支援先など利用者を対象に登録。入荷情報を配信。



ご寄付の流れ

【提供について】

段ボール20箱程度、
200~300食程度
は収容できます。

また配布も案内メー
ルにより一日200食
程度は配布可能です。

●天満屋ストア搬入口
2.0tトラックまで対応可能

●立体駐車場
一般乗用車は横づけ
可能です



【搬入について】

最大2.0tトラックまで
可能です。

●関係車両搬入口
1.0t~1.5tトラックまで対応可能



ご寄付の流れ



1月10日現在の各登録者数と流れ

約200人

約340世帯

フードプレゼンター
(ご寄付者)



ハッシュタグの受付に
提供品を持ち込み



受付でデータベース
への入力

ハッシュタグ



食材・日用品の寄付

コミュニティフリッジへ



登録者へ寄付



食品名、個数、消費期限、寄付者を記載

主にはシングルマザー
・ファーザー世帯

ハッシュタグ岡山の営業中はいつでも持ち込み可能です。

毎日 9:00~21:00 (年末年始を除く)

フードプレゼンターの役割



ご登録の上、以下の食品・日用品のご寄付をお願いします。

個人寄付者にご寄付をお願いするもの

【食品】

※すべての食品は未開封が前提です。

※長期保存ができるもの。(消費期限内)

- ・ 真空パックされた食品(レトルトパウチなど)
- ・ お菓子
- ・ 食卓調味料、料理調味料、食用油
- ・ 缶詰(お肉、おさかな、野菜、フルーツ、スープ、豆など)
- ・ 贈答品(ハムや海苔など)
- ・ 小麦粉、片栗粉、パスタ、穀物等の乾燥した食品、シリアル
- ・ 新鮮な野菜
- ・ コーヒーや紅茶

【日用品】

- ・ 石鹸、洗剤など
- ・ シャンプー、リンスなどのヘアケア用品
- ・ ティッシュペーパー、トイレトペーパーなど
- ・ その他、未開封で使用期限内のもの

お受け取りができないもの

- ・ ご家庭で作られた料理
- ・ ごはん(炊飯済み)
- ・ どんな材料が使われているかわからない食品
- ・ ラベル表示されていない材料
- ・ 消費期限の切れたもの
- ・ 左記以外の食品

商店でご提供可能なもの(食品、日用品)

※すべての食品は未開封が前提です。

※消費期限内のもの。

※個人寄付者と同じ商品

※賞味期限内の生鮮品 など



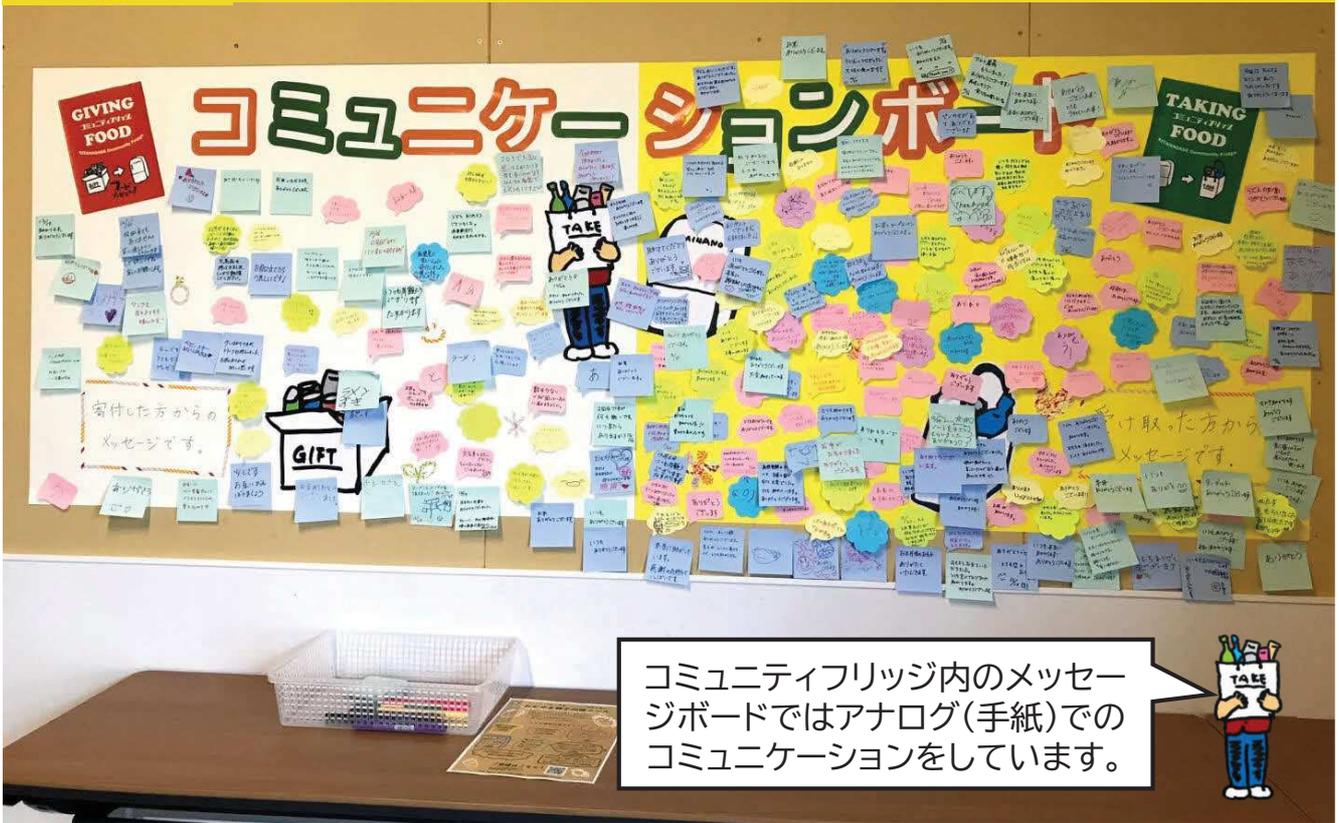
インターネットでの支援



スマートサプライによる支援

Amazonの欲しいものリストに登録された物品を選んで購入すると寄付になります。





コミュニティフリッジ内のメッセージボードではアナログ(手紙)でのコミュニケーションをしています。



勸興まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

「勸興皆一家」を合言葉に、「ふれあい部会」、「まちなみ部会」、「すこやか部会」、「まなざし部会」、「まちの駅部会」の5部会で活動しています。

中でも、3世代がふれ合う場としてまちの駅部会が中心となって開催している「勸興まちの駅」は、平成18年6月にスタートし、毎月第2土曜日に開催してきました。コロナ感染防止のため令和2年3月から一時中断をしていましたが、可能な限りの対策をして、10月から再開しています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

勸興校区でもコロナ禍の中、行事の開催については大変悩みました。

手指消毒やマスク着用、ソーシャルディスタンス、会場での会食を控えるなど、「やれる工夫」を駆使して、可能な限り行事を開催できるよう知恵を絞っています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

みんなで支え合うまち「勸興」を目指して、各種団体と連携して「住民同士がつながる場づくり」に取り組み、もっとたくさんの校区の皆さんに行事に参加してもらえるよう工夫をしていきたいと思えます。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

令和3年4月に新しい公民館が開館します。将来を見据えたまちづくりに「勸興皆一家」力を合わせて取り組んでいきましょう！

皆さんのご参加をお待ちしております！

勸興まちの駅（令和2年11月）

家で塗ったぬり絵を持参して景品をゲット！



勸興まちの駅（令和2年12月）

ソーシャルディスタンスに配慮して開催



循誘まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

循誘まちづくり協議会は、設立して5年目となりました。「心ゆたかなまち じゅんゆう」を全体目標として掲げ、4つの部会（地域活性化部会、環境・防災・防犯部会、健康づくり・福祉部会、子どもへのまなざし部会）を設け、校区内の諸団体と連携・協力し、活動しています。



※「循誘ふれあいふるさと祭り(10月)」、「春のじゅんゆう文芸賞(2月)」は**実行委員会**で企画・運営しています。(右図参照)

各部会では、「循誘まちづくり計画」に基づき、豊かで住みよい地域づくりに向け、様々な意見やアイデアを出し合い、お互いに

連携し合い、独自の事業を展開しています。特に事業の中で、「循誘ふれあいふるさと祭り」や“佐賀城下ひなまつり”の開催に合わせて行う「春のじゅんゆう文芸賞」は循誘校区内の諸団体と実行委員会（上図参照）を立ち上げ実施しています。なお、今年度の事業・行事はコロナ禍のため、12月から再開です。

各事業を通じた「まちづくり協議会」と諸団体との関連



コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

10月の“循誘ふれあいふるさと祭り”の中止は苦渋の決断でしたが、実行委員会で議論を尽くしての決断でしたので来期に向け希望が持てました。また、コロナ禍のため、様々な事業中止の中にも、まち協の部員の皆さんは、今は“じっくりとこれまでの事業を振り返り、さらに新たな事業を生み出す期間”と考え、前向きに捉えています。12月からは健康づくり・福祉部会主催の“カレーの日”を皮切りに、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、万全の体制を整え、少しずつ事業・行事を再開予定です。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

地域の皆さん、コロナ禍の中、不自由な生活をされていることと思います。今は地域の力を試されている時期です。一緒に手を携え、乗り越えていきましょう。日常生活の充実の一助として校区の情報をご活用ください。

～ 地域の情報コーナー ～

“**つながる循誘**” まちづくり協議会の事業、循誘校区の様々な情報（公民館事業、地域行事、防災情報など）は“つながる循誘”からどうぞ！！右のQRコードから登録してください。



“LINE@「じゅんゆうLINE」”

循誘校区の毎月のスポット情報は右のQRコードからどうぞ。
※LINEの友だち追加でQRコードを読んでください。



行事紹介

循誘まちづくり協議会では、公民館や校区内の団体・事業所と連携し、様々な取組・事業・行事に取り組んでいます。その一部を紹介します。（行事は令和元年度分）



ふるさと美化活動



特殊詐欺防止講話



公民館文化祭



お楽しみ会食会



春のじゅんゆう文芸賞



くれよんロケット



カレーの日(毎月10日)



ミステリーツアー



循誘ふれあいふるさと祭り



日新校区まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ◆本部：日新まつり、日新校区ラジオ体操、日新文化祭、地域子ども教室、ふれあい写真会
- ◆地域文化部会：観月会、ふじの花見茶会、歴史探訪・講演会
- ◆環境保全部会：天祐寺川探検、花植え、視察研修
- ◆子どもの健全育成部会：通学合宿、子ども見守り隊、栄の国まつり、子どもみこし
- ◆安心安全部会：校区ハザードマップ作成
- ◆健康・福祉部会：ラジオ体操の推進、健康体操等、健康づくりに関する事業
- ◆公民館協力事業：趣味教養講座、日新さが学講座

日新まつりは、日新小学校が築地反射炉跡ということもあり、校内にあるカノン砲の空砲を撃ちます。迫力のあるカノン砲の音とともに校区民の楽しみな行事です。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

例年実施されている事業のほとんどが中止になっています。

その中で観月会はウォーキングスルー観月会と銘打って、飲食なしで公民館多目的ホール内でも密を避け、留まらずに済むよう工夫をして開催し、100名を超える参加を頂きました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今後実施する日新文化祭については、舞台での発表活動はひかえて、展示のみの開催を予定しています。

多くの事業が中止される中、知恵と工夫で少しでも校区民が参加できるよう、これからも考えていきます。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナウィルス感染リスクを避けるため、多くの事業が中止されていますが、各種団体・サークル活動は感染対策を行いそれぞれ活動を行っています。

公民館での活動は地域の拠点として大切な場所です。みんなで協力して乗り越えましょう。

ウォーキングスルー観月会（令和2年）



日新まつり（令和元年）※令和2年度中止



赤松まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

結成4年目。市内のまち協ではビリから数えたほうが早いスタートになったが、先輩まち協さんの状況を学び、参考にすることで前に進めた。本部・役員のもと「げんき」「まなび」「あんしん」「親子ふれあい」「つながり」の5つの部会を作り、80人の委員が揃った。大事にしたのは若いメンバーが参加しやすい環境づくり。会議をすべて夜間に行い、仕事や家庭を優先してもらうことで「地域活動を楽しむ」スタイルにこだわった。結果、メンバー全員が互いに仲良くなり、和気あいの活動が実現した。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

集まらないけどつながりは維持！この二律背反を解決すべくLINEで「グループ赤松」を作り、スマホ教室も開催、40人が参加し情報を共有している。こども食堂などイベントごとにグループを作って情報共有化を実現。ウイルス対策で何かと制限の多い公民館事務所のPCをカバーすべく、まち協設立と同時にパソコンや複合機などを導入したことが今回のコロナ禍で、一気に役立った。編集者が一人きりでなかなか更新できなかつたまち協ホームページは、フェイスブックの勉強会を実施してこれに変えた結果、16人の編集者が揃い頻りに更新できるように。公民館の講座や行事、教室なども動画カメラやプロジェクターを購入して無線でつなぎ、2部屋同時開催を実現した。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今年は規模を縮小したが、昨年から県建築士会青年部と一緒に「水鏡プロジェクト」を開催。県文化課やサガテレビとともに「春フェス」「さいこうフェス」にも取り組んでいる。これからも佐賀城址や堀、美術館や博物館などを擁する地の利を活かし、観光も含め新たなイベントに挑戦していく。ますます深刻化する少子高齢化や地球温暖化の中で、高齢や子どもたちを孤立させず、お隣やお向かいさんを単位とする地域活動のあらゆる問題に、まずは取り組み続ける。

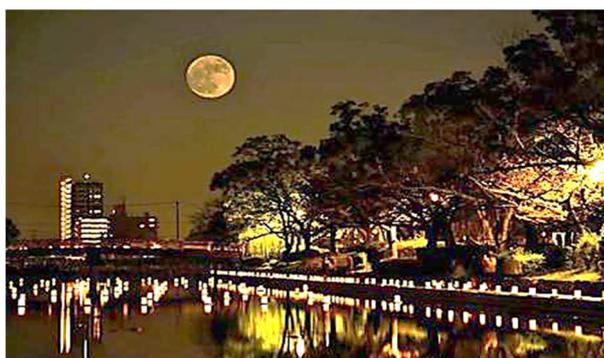
地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

「思いやる 心でつなぐ ふれあいのまち 赤松」。このキャッチコピー通り、赤松まち協はコロナ禍をもチャンスととらえ、SNSやデジタルを活用し活動を前に進めている。結果、助成金頼みの活動から、自らの足で立つNPO法人化も見えてきた。100人近いまち協メンバー全員がコロナ禍に立ち往生するどころか、解決し前に向かう姿勢を貫いているからこそその姿。これからもさらに多くの方のまち協参加を願っています。

赤松小 PTA や先生のバンド演奏で大合唱



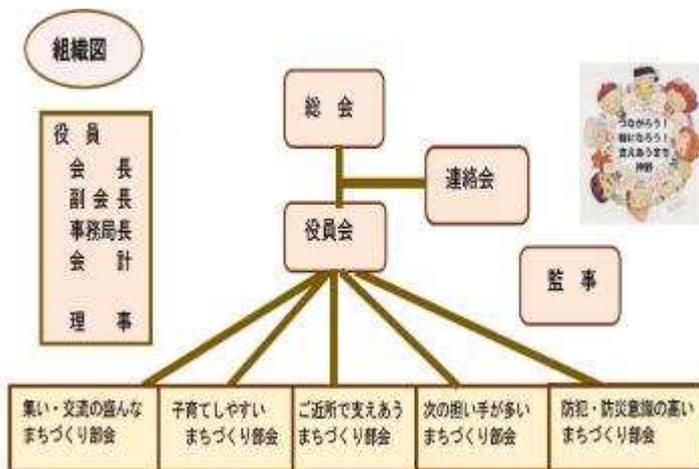
まち協主催の水鏡プロジェクト



神野まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」を目標に掲げ、神野校区に住んでいる人たちが、お互いに交流と親睦を図り、豊かで住みよいまちづくりに取り組もうと平成26年（2014）6月25日に設立されました。



子どもから高齢者まで楽しめる「神野校区夏まつり」、質の高い文化芸術に触れることを通して豊かな感性を育む「神野芸術祭」、公民館自主サークル活動の成果を発表し、地域交流の場とする「公民館文化祭」、地域の子どもを見守り、地域全体の安全・安心を図る「地域の安心・安全見守り事業」など、協議会本部が主体となって行います。また、当協議会には5つの専門部会を設けて事業を進めています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

新型コロナウイルスの感染問題は社会経済を大きく揺るがせ未だに終息しない状況ですが、活動を中止あるいは廃止することは避けなければなりません。現在までに築き上げてきたいろいろな事業・実施予定のイベント等を実行していく中で、各種団体等には「3密の回避」を最優先にして取り組むよう指導しています。開催するかどうかの最終的判断は、もちろん担当部門が決定します。決定に至るまでは、担当責任者の独断にならないよう、当協議会の役員会や連絡会で意見を交わしています。

ところで、令和2年度に開催する予定でした「夏まつり」「体育祭」をはじめ多くのイベントを中止いたしました。これも「3密」を回避したことが大きな原因の一つです。‘命あっての物種’です。みんなの安全・安心が第一です。

今後取り組みたいこと、地域の方へのメッセージ

「つながろう！輪になろう！支えあうまち神野」をより強固な『絆』創りのスローガンとして行くためには思考停止は許されません。環境の変化をいち早く読み取り、先取りした団体として、常に前進して行きたいと思っています。いろいろな訓練、講座も大切ですが地域の人たちの強くて思いやりのある『絆』が重要です。

そのため今後とも毎月の役員会は開催し、連絡会と共に新しい環境下で実施できるイベントなどに取り組んでいきたいと考えています。みんなで取り組み頑張りましょう。

脳トレ・神野塾（令和2年度）



神野校区夏まつり（令和元年度）



西与賀まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

西与賀町内の主な活動

住民アンケートを経て第2次にしよか夢プランの策定（2020年～2025年達成目標）、朝ラジ西与賀中央の集い、にしよか夏祭り、にしよか文化祭、町民運動会、機関誌「まちづくりだより」の発行、ブログ「つながるさがし」の作成、西与賀ぶらあるき、新年5社参り、親子で凧づくり、おはなしひらけごま、わくわくふれあい体験・通学合宿・キッズクラブ（連携事業）、地域福祉活動・広報、ミニミニ運動会、福祉講演会、青色パトロール、救命用具点検、救命用具設置マップの全戸配布、安心安全だより発行、避難訓練、防災訓練、子育てサロン、ふれあい広場とまりぎ 学びの泉、手つなぎプロジェクト、体協各種行事、老人クラブ行事など

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

昨年まで実施していた地域行事や研修会は中止、定例会議を減らす中で、今できることを企画、実施している。

手作りマスク作品大募集 5/11～ 西与賀郷土かるた作成 インスタグラムで情報発信！
ぶらあるき 10/11 西与賀公民館 10周年感謝祭 11/7 西与賀ライトファンタジー12/5～1/22
安心安全だより発行 青色パトロール（毎日） 救命用具点検 手つなぎプロジェクト
※三密を避ける活動での実施 消毒、体温測定、マスク着用、参加者数制限・室外での実施を心がけている。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・認知症患者で特に徘徊を繰り返される人の見守りネットワークづくりを考えている。
- ・コミュニティスクールの西与賀小学校との連携を深め、地域学校協働活動をしていきたい。
- ・コロナが終息したら子育て部会主体で「子ども夏まつり」を再開したい。
- ・福祉部会との連携で小学校でサロンを開催し、高齢者に気軽に学校に来てもらい児童と交流を持てる場をつくりたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

- ・少子高齢化の時代をみんなで力を合わせて、健康で明るいまちづくりを進めましょう。
- ・コロナに負けず、「笑顔でつながる 元気なまち西与賀」を目指して、頑張りましょう。
- ・つながり、支え合う地域をつくっていきましょう。
- ・手洗い・マスクで自分を守り、もう一息、気を付けて乗り越えましょう！

手作りマスク大募集

新型コロナウイルスに負けない！



世界中にまん延している新型コロナウイルス、緊急事態宣言に国民のすべての人は日々の生活に不安と恐怖を感じながら終息を願っています。しかし感染拡大を抑えるマスクは出回れぬ。一歩前に二枚の布マスクが政府から配布されますが、全員に行き渡りません。これ以上感染者が出ないように自分たちでマスクを作り、自分の命や家族、大事な人を守り、大切な状況乗り越えましょう。まちづくり協議会は「手作りマスク作品大募集！」として、下記のように皆さんの作品を募集します。応募された方には、たくさんのお礼があります！！

左の写真は、ギンガムチェック生地の手作りマスクをされたいた親子。マスクはお母さんが優しく手縫いされ、お父さんのアイデアで、ゴムの長さが調節しやすいようにマジックテープが縫われていました。「私たちがこの手縫いを守らなければいけません」と、お母さんの言葉に子を守る親の深い愛情を感じました。



手作りされたマスク



★募集期間 令和2年5月11日(月)～5月29日(金)

ぶらあるき 西与賀相応津へ



嘉瀬まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

★【人と人との交流事業】嘉瀬・久保田・鍋島三校区合同親睦グラウンド・ゴルフ大会

嘉瀬・久保田・鍋島三校区まちづくり協議会主催、佐賀県立森林公園指定管理者協賛、嘉瀬町老人クラブ連合会・嘉瀬まちづくり協議会福祉健康部会協力による「第1回三校区合同親睦グラウンド・ゴルフ大会」、10月30日（金）佐賀県立森林公園芝生広場を競技会場として実施致しました。当日は爽やかな好天気にも恵まれ、コース周辺には参加者全員に参加賞としての風車が彩りを添え、初めて体験する広々とした芝生広場での競技、三校区混合によるチーム編成での人と人との新たな出会いで、一喜一憂しながら歓声の中での親睦グラウンド・ゴルフ大会となりました。参加者の方々から「今日はとっても楽しかったよ、満点・・、との想定外の評価を頂き、事故もなく大会が遂行出来ました。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

★嘉瀬川河川敷での熱気球大会が中止となり、嘉瀬川防災ステーションでの10年間継続して来た嘉瀬かかしまつりも中止となりました。そこで、かかしまつり実行委員会は、この機会をチャンスととらえ、さらに進化させるため「人型簡単かかしの作り方紹介」や、地域の皆さんに募集チラシによる「かかしアイデアコンテスト（こんなかかしがあったら）」に絵の募集をお願い致したところ多数の応募を頂きました。コロナ禍ならではの「かかしまつり」になったのではと思っています。

★嘉瀬小学校4年生が毎年担当してくれる「かかしづくり」。今年は新型コロナウイルスへの配慮で3密を避けるため体育館を利用しながら、【感謝】をテーマに、7グループがそれぞれのアイデアを出し、グループごとに与えられた材料で、作図から、切断加工、絵付け、仕上げ、完成までの一連の工程をみんなで協力し合い、そして地域の皆さんと一緒に、7セット15体のかかしが完成しました。かかしは嘉瀬小学校校内に展示することになりました。製作の過程、状況については11月23日（月）STS18時カチカチプレスで放映されました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

★【人と人との交流事業】嘉瀬・久保田・鍋島の三校区親睦グラウンドゴルフ大会を開催した佐賀県立森林公園を地域活性化の拠点として、少子高齢化など多様化する地域社会に対応できる地域づくりの一環として、老若男女が楽しく安心して集える居場所づくり、三校区協働によるイベント事業（地産物産店、夏祭り、観月会、コンサート等）に取り組んでみたいと思っています。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

★「安心安全で住みたい嘉瀬、幸福度佐賀市で1位」を目指して、地域住民が主役のまちづくり頑張りましょう。

第1回三校区合同親睦グラウンドゴルフ大会



嘉瀬小学校4年生かかし作品



巨勢まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

巨勢まちづくり協議会は、「みんなでつくる、住みよい巨勢」を目標に、巨勢校区内の交流と親睦を図り、豊かで住みよい地域づくりに取り組むことを目的として平成26年に設置しました。今年度は、コロナ禍でほとんどの校区事業を開催できていませんが、通院や買物が困難な方々からの移動支援のご要望にお応えして10月1日から「コセべんりカー」を運行開始しました。また、自主防災組織の設置推進を図るべく、委員会を立ち上げて協議検討を重ねています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

コロナ禍で、地域や学校現場のお声を重視して、今年度の主要な校区事業を中止していますが、部会等が開催する健康講座や歴史講座等の事業では、三密を考慮しながら、参加者数の制限やソーシャルディスタンス等のコロナ対策を万全に講じたうえで実施しています。また、佐賀市ホームページ「つながる巨勢」に動画による地域行事等を紹介して、集まることができない状況下でも行事の細かな内容がわかるよう工夫しています。動画の活用ということでは、町の劇団「巨勢オレンジ」の認知症に係る寸劇を動画に撮って城東中学校の生徒に紹介するなど、外部との接触が難しい学校サイドの状況を勘案した対応もしています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

巨勢町の課題、「移動支援」「自主防災組織設置推進」「歴史・文化の継承」に関して、今年度から設置した部会や委員会の活動で大きな成果を得られるように尽力してまいります。移動支援事業については、運行開始後の利用者数が事前調査時の3倍以上に増えており、今後ともニーズにしっかりお応えして安定的に取り組んでまいります。自主防災組織については、近年の度重なる災害発生を考えますと、早期に校区並びに各町区に設置することが急務であり、町民の皆様のご理解、ご協力をいただき、設置実現につなげてまいります。歴史・文化については、現地調査を踏まえて、史跡等の説明パネルやマップの整備などに取り組み、後世に継承してまいります。

地域の方へ向けた応援メッセージなど

巨勢町民の皆様、平素は、まちづくり協議会並びに各部会・委員会の活動に力強いご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。コロナ禍が全国を席卷していますが、一刻も早い終息、町民の皆様楽しく参加いただき、交流できる校区事業の再開を心から願っています。まちづくり、そして、まちの課題解決には、何よりも町民の皆様のご参加が必要です。一人の一步より、百人の一步です。皆様の一步を心からお待ちいたします。

移動支援用車両「コセべんりカー」出発式



「自主防災組織設置推進委員会」開催風景



兵庫まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

平成 26 年に設立し、現在 7 年目を迎えます。今年度は初の役員交代を経験、新役員一同、心機一転頑張っています。主な活動としては兵庫の里まつり、町民文化祭、鬼火焚きなどです。共生・環境部会、めばえ部会、イキイキ福祉部会、安全・安心部会、歴史・文化部会の 5 つの部会もそれぞれのテーマに沿って活発に取り組まれています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

この状況の中でも何かできることはないか、各部会でそれぞれ検討していただいています。従来、体育館で開催していたハロウィンの仮装コンテストをメールで募集したり、町民文化祭の出品作品を「WEB 文化祭」と題して、つながる兵庫で紹介したり、会場に足を運ばなくても楽しんでもらえるように工夫して取り組みました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

まずは新型コロナウイルスが終息し、従来通りの活動ができるようになることが一番の望みです。それがいつになるのか、果たしておさまるのか、先行きが不透明な状況ではありますが、下を向かず、粛々とできることをやっていこうと思います。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

兵庫まちづくり協議会では、コロナウイルスにも負けず、感染拡大に十分に気を付けながら地道に活動を続けています。ご都合がつかれる際にはぜひともご参加ください。

かぼちゃの重量当てコンテスト



兵庫町民文化祭（作品展示）



高木瀬まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- 「みんなで支えあう 住みやすい町 高木瀬」を目指して、高木瀬まちづくり協議会は平成 28 年 7 月に発足しました。部会は、子ども見守り部会、高齢者見守り部会、防災部会の三つの部会があり、構成員は自治会をはじめ各種団体から 79 名の参加をいただき活動しています。
- 具体的には、青パトによる校区内巡回や防災教室開催のほか、他地区での視察・研修も行っています。また、子どもや高齢者の居場所づくりにも積極的に取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- 今年の 4 月の総会は、委任状をいただき少人数での開催となりました。校区の最大イベントである「ふれあい夏祭」をはじめとする様々な行事が中止となり、人と人の接する機会が少なくなってしまい本当に残念です。
- 本部役員会を臨時でも開き、三密を避けながらコロナ禍でも通常通り青パト巡回、状況を見ながらこどもの居場所づくり開催など、参加者制限などして再開しているところです。
- 防災部会では、最近の豪雨などに対応すべく小委員会を設置し、自主防災組織を増やすための準備を始めています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- 校区内の名所旧跡等に案内板設置や歴史散歩マップを作製し、高木瀬に対する愛着を深める取り組みをしたいと考えています。
- 防災については、防災部会の小委員会が自主防災組織設置の推奨、防災マップの見直し、避難場所の見直し、危険個所の点検を進めたいと頑張っています。
- 認知症の方が、安心して暮らせるまちづくりを目指して、住民の理解を深めたいと考えています。
- 環境美化のため、一部団体が行っている道路清掃を団体・地域にも呼びかけ、一斉清掃を行いたいと考えています。

地域の方へ向けた応援メッセージなど

- コロナ禍で「巣ごもり」状態の皆さん、マスク・手洗い励行、三密を避け、再開され始めた地域行事に参加しましょう！！
- 公民館、自治公民館にも足を運んでください。仲間が待っていますよ。

青パト巡回



防災訓練



北川副まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・年に3回「まつり」を盛大に開催しています。桜の開花時期に合わせて、徐福サイクルロードで開催する「北川副桜まつり」は「おもてなし」の心で、お花見に来られた皆様をもてなしています。
- ・北川副校区内の危険箇所や注意箇所を、地域住民・子供・保護者の目線で編集し、地区別のマップに表しました。これを小学校児童全員、教職員、地域関係者、校区内在住小学生に配布し、北川副小学校での安全教育の教材および地域での子供の安全確保や見守り活動に活用しています。
- ・高齢化社会を迎え、住み慣れた地域で安心して暮らせるために、認知症やその疑いのある方が事前に登録し、行方不明時にサポーターによる早期に発見するネットワーク体制を構築しています。サポーター対象の認知症研修や、徘徊者が出た場合の搜索模擬訓練も行い、有事に備えています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

多くの行事が中止になりましたが、これからは「コロナ禍だからできない」ではなく、「コロナ禍でどのようにできるか」を考え、地域に根付いた「活動への熱」を下げることがないように、実施していく努力をしています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・安心して「集まる」ことができる日が来たら、盛大に三大まつりや防災訓練などの事業を開催したいと熱望しています。
- ・近隣校区と協働し共催できる事業を開催できれば、きっと盛り上がりますね。

「どけいくかた！ネットワーク」

認知症徘徊者搜索模擬訓練で、徘徊者へ優しく声かけしています



佐賀市防災訓練への参加

段ボールパーテーションや災害用トイレを設置するなど、避難所設置訓練をしました



本庄まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

本庄まちづくり協議会は、本庄校区で活動する各種団体との協働を図りながら、住民相互の交流と親睦により、地域の活性化を促進することを目的として活動しています。

4部会に分かれ、部会には町内の各種団体を配置し、総員75名で活動しています。

今年度は、多くの事業が新型コロナウイルス感染症流行のため中止せざるを得ない状況となりました。コロナ流行の終息が見えない中、まちづくりが先細りにならないか懸念しています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- **情報文化部** 各種イベントの大半が中止になったために、町内の単位自治会の活動紹介等に力を入れ、情報紙「タイムズ本庄」の発行を行っている。
- **地域教育部** 主に3密を避け、野外活動を中心に実施している。
- **防犯防災部** いくつかの研修会をまとめて実施し、研修の回数を少なくしている。
- **健康福祉部** 事業が減った分「本庄健康だより」に経費をかけ、“**どがんかせんばいかん糖尿病**”ということで、本庄校区の実態を踏まえた食習慣の改善や公民館での特定健診受診の呼びかけを行った。
- **その他** 「かたりべの里本庄祭」の中止に伴って、自治会徴収の一戸当たりの負担金は、自治会へ返金することにした。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- 子ども関係の事業については、子ども会連合会との共催が多かったが、今後は、小学校PTAとの連携を図り、若い年齢層の考えも生かしていければと思っています。
- 年金の支給年齢引き上げに伴い、退職後も働き続ける人が多くなり、自治会やまちづくりの役員になり手がなくなっているのが現状です。後継者の育成や人材確保ができないとなかなか地域の活性化にはつながらないようです。広報紙等でも「まちづくり協議会」への理解を深めるとともに参画を呼びかけています。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

今年度は、多くの事業が中止され例年以上の繰越金が想定されます。これをチャンスととらえ、新たなアイデアを基に来年度の補助金の有効活用を考えていきたいと思えます。

新規事業について、現状を踏まえた住民の皆さんの様々な意見をお寄せください。

本庄歴史探訪ウォーキング

10/26



本庄「防災の日」防犯・防災研修会

10/28



鍋島まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

鍋島まちづくり協議会は、「歴史と未来がふれあうまち鍋島」を目標に掲げ、住民相互の交流と親睦を図り、豊かで住みよい地域づくりに取り組んでいます。活動は、各種団体の得意なことを活かすとともに、連携しながら、全体活動として「養正ふれあいまつり」、「防災に関する啓発」、「地域の見守り」などに取り組んでいます。また、部会活動として「すこやか元気部会」、「ふるさと学習部会」、「あんぜん互助部会」において、住民と一緒に、高齢者や子ども達に対する活動を重点に取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「校区一斉ラジオ体操」や「養正ふれあいまつり」を中止しました。そのため、当初計画を変更して、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、新型コロナウイルス感染防止備品として、鍋島小学校には、飛沫防止パーテーションと検温計、鍋島中学校には、検温計と大型扇風機をそれぞれ贈呈しました。また、小学校の総合学習関係、まち中探検、成富兵庫碑補修、昭和28年鍋島大水害写真集づくりに取り組み（公民館と共催）、防災マップの見直し作業（自治会長会と共催）、WEBでの門松づくりを予定しています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

安全で安心して暮らせるまちづくりをするために鍋島校区自治会との連携を更に深めていきたいと考えています。特に、鍋島校区は軟弱地盤であるために、地震に対する備えが重要であることから、住民に対する地域防災の啓発に取り組んでいきたいと考えています。具体的には、鍋島自治会長会（自主防災会）との連携を更に深め、例えば、災害時の軽トラックカーシェアリングなども検討していきたいと思えます。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

鍋島校区は、佐賀医科大学設置後に新しくできた住宅地と従来からの住宅地が混在しており、住民の地域に対する考え方にも違いがあります。地域の宝は子どもたちであり、その保護者を中心に住民の皆様がスクラムを組み、安全で健やかに育てていくことが大事です。

一方、時間的に余裕が出てきた高齢者が増加しており、これら高齢者の方々には元気で、いろいろな経験をされ、しかも豊富な知識・技術を有されています。

まち協活動は、校区内の各種団体の着着的な役割を果たしながら、子どもから高齢者に至る住民の皆様がお互いに知り合う場でもあると思えます。

このため、皆様、鍋島公民館や各自治会公民館等を利用して、楽しい交流や健康づくりに努めましょう。

昭和28年水害説明（鍋島小総合学習）



コロナ備品贈呈式（鍋島小学校・中学校）



金立まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

“みんなが主役の明るいまち金立”をスローガンに5部会が活動している。

1. 地域活性化部会
 2. 防犯防災部会
 3. 子ども育成部会
 4. 福祉部会
 5. 自然環境部会
- 史跡説明板の設置、「金立探検隊」のボランティアガイド、青パト巡視活動、校区一斉ラジオ体操、郷土かるた大会、町内美化活動、高齢者スポーツ大会、地域公開講座の実施、ホテルの育成活動、桜の植樹、ふれあい運動会、はがくれの里まつり、ほんげんぎょう等。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

大勢が集まる活動の中止の中、“ほんげんぎょう”だけは実施すべく、コロナ対策として検温は参加者に責任を持って実施してもらい、受付時に名簿に記入してもらおう。また、例年行っていた豚汁の提供を取りやめ、持ち帰りの品物に変える。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

みんなが集まらなくて参加できる“金立町ほっこり写真展”を新たに開催することにした。
今年度に金立町内で撮影された写真で一般の部、小・中学生の部で実施する。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナに負けるな！ コロナ対策を怠るな！（マスク着用）
コロナ対策を実施し、行事に参加を！！

ほんげんぎょう



はがくれの里まつり



久保泉まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- (1) 国の天然記念物である、えひめあやめの保全活動を通じて、町民の融和・交流を図っている。
- ① 小学生を対象とした、えひめあやめ総合学習、講座の実施
 - ② 町民による自生地との管理と育成作業
 - ③ 開花時期に、えひめあやめ祭りを実施し、一般公開している。(昨年はコロナのため中止)
- (2) 盆踊り・花火大会、ほんげんぎょうを開催して、町の活性化と町民相互の交流を深めている。
- (3) 子ども見守り活動(青パト巡回)、自主防災対策、高齢者支援活動など、安全で、安心して暮らせる町づくりをめざしている。

コロナ禍の中での現状(今の状況、工夫していること)

コロナ禍の中で、えひめあやめ祭り、町民体育大会、高齢者グラウンドゴルフ大会など、各団体主催の町の活性化と、地域住民相互の交流を目的とした主要な行事、イベントを中止せざるをえなかった。そんな中でも密にならないように縮小してでも行事を実施しているものもある。

- (1) 盆踊りは中止したが、コロナに負けるなメッセージ花火の打ち上げを行った。
久保泉小学校児童にコロナに負けるなメッセージを書いてもらった。
- (2) 文化祭では舞台発表は中止したが、作品展示は行った。
- (3) 今年1月にはコロナ収束を願い、ほんげんぎょうを実施する予定で準備を進めている。ぜんざいの振る舞いは中止。
- (4) 久保泉小学校への子ども用の自家製マスクの提供。(いずみボランティア、楽々会などの団体が)

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

来年度は、まちづくり協議会を中心とした各団体の正常な活動を町民一体となって行えるように願うものである。

- (1) 重点取り組みとして6つの企画委員会と、各団体が行っている事業及び活動をさらに充実させ、まちづくり協議会の活動に町民の方々ももっと参画してもらいたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

久保泉校区は、みんな笑顔で助け合う、安心・安全なまちづくりを目指しています。みなさんも参加してみませんか。そして町民みなさんでまちづくりを盛り上げていきましょう。

えひめあやめ祭りの様子(平成30、31年)



盆踊り・花火大会(令和元年度)



蓮池まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・主たる活動
天賜園月まつり（10月）、蓮池町民文化祭（3月）、歴史学習会（年間3回）
校区住民水難事故防止訓練（7月）、蓮池公園環境美化活動（6月～10月）
蓮池歴史探訪と宇宙科学館見学（8月）、高齢者スポーツ大会（11月）
- ・地域の魅力
蓮池公園の花づくり、「子ども冬まつり」での親子しめ縄づくり
部会間の垣根を超えた歴史探訪

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・今まで実施してきた「天賜園月まつり」や歴史探訪活動、高齢者スポーツ大会及び親子しめ縄づくり等々はやむなく中止にしたが、町民文化祭については密を避けるため場所を分散するなどのコロナ対策を実施し、開催の方向で計画している。
- ・リモート会議を少人数で数回実施し、役員会等でも活用できないか模索中。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・コロナ収束後、従来実施してきた各部会の内容を見直し、校区内外の皆さんに蓮池の「まちづくり」についてもっと知ってもらえるような活動の内容を考える。
- ・将来的には、それぞれの部会がアイデアを生かした展示コーナーや身体を動かす体験コーナー等を設け、各種団体の協力を得ながら「蓮池まちづくりフェスティバル」を開催する。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

新型コロナ禍において、いろいろな活動が制限されたり、中止に追い込まれていると思いますが、こんな時期でないと考えつかないことがきっとあると思います。

今は、みんなが集まって話し合うことは出来ないかもしれませんが、一人ひとりがアイデアを膨らませ、これからの活動に生かせるよう未来を見つめて進んでいきましょう。

学校の「文化発表会」とコラボした「蓮池歴史文化祭」で登場した八坂神社の「獅子舞」



蓮池の伝統芸能として後世に残していきたい「蓮の池節」。観月会恒例の出し物となっている



新栄ふれあいまちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

暮らし部会、環境部会、歴史文化部会、育成部会、福祉健康部会の5部会から成り立っており、暮らし部会は「みんなの絆で支え愛」、環境部会は「みんなで未来へつなぐ自然愛」、歴史文化部会は「みんなで歴史を学び育む郷土愛」、育成部会は「みんなで学んで育ち愛」、福祉健康部会は「みんなで声かけ助け愛」と、それぞれの部会が各々のテーマに沿った活動をしています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

校区の行事の多くは中止となったが、感染予防の手洗い・マスク着用・3密を避けて、雛飾り・鯉のぼり・七夕まつり、ランタン飾り、イルミネーション等を公民館に飾り付け、校区民の方が元気を出すようにした。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

来年度は、今年できなかった夏祭り・秋祭り等を開催し、地区のみんなが元気になるようにしたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

町のキャッチフレーズの『あいさつするまち・健幸で躍動するまち・新栄』を目指して頑張ろう!!

環境部会主催による資源物回収（R2年）



歴史文化部会による八戸城想像復元図の説明（R2年）



若楠まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・若楠まちづくり協議会は、設立して現在3年目。「みんなが元気！住みよい若楠」を目標に掲げ、子ども育成部会、すこやか部会、防災・安全部会、環境部会、地域活性化部会の5部会で活動している。
- ・主にやっている活動（若楠納涼まつり、若楠文化祭、若楠ほんげんぎょう、さが桜マラソン応援プロジェクト）

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・役員相互の事務連絡として、スマホのLINEを活用し、会議時間の短縮を図っている。
- ・納涼まつりはコロナ禍の下で中止した。厄除けの神事である若楠ほんげんぎょうはコロナ対策を講じた上で実施する予定である。
- ・交流できなくても、地域の人と子どもたちとの気持ちを繋ぐため、アマビエすくすくくん（アマビエと若楠小キャラクターすくすくくんが合体したもの）の絵が描かれたオリジナルキーホルダーを制作し、全児童にプレゼントした。同キャラクターのオリジナルマンホールも制作中である。
- ・区民体育大会を中止するかわりに対象者や人数を制限し、ニュースポレク祭（共催）を実施した。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

来年度は若楠納涼祭り、文化祭、若楠ほんげんぎょう、さが桜マラソン応援プロジェクトを今年できなかった分、地域住民総力を上げて盛大に実施したいと考えている。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

地域のみなさま、今は我慢の時です。明けない夜はありません。年明けには、ほんげんぎょうで厄祓いをし、一歩ずつ前に進みましょう。

若楠ほんげんぎょう（R1年度）



オリジナルグッズ等の贈呈式（R2年度）



開成まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・通学合宿、文化祭、ほんげんぎょう等の主な地域行事をまち協主催で開催しています。
- ・各部会が自立しており、それぞれが活発な活動をおこなっています。
- ・役員会で部会同士の連携の機会を図り、よりよい活動の発展につなげています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・役員会は少人数で行い、活動状況の把握ができるようにしています。
- ・夏祭り、通学合宿、文化祭は密を避けることができないため中止しました。
- ・屋外で密にならないイルミネーションイベントは例年通り開催できました。
- ・新たにイルミネーションのフォトコンテストを開催し活性化を目指しました。
- ・観月会やクリスマス会などの会場を屋外に変更する等コロナ感染拡大防止に努めました。
- ・公民館と共催し、マスク作りの講座を開催し回数を増やすほどの好評を得ました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

地域活動の停滞化につながらないよう、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に気を付けながらも活動できる内容を模索しています。部会同士で協力しながら工夫していきたいと思っています。現段階では、複数の部会や地域団体が安全に参加できる屋外イベントを検討中です。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナ禍ではありますが、開成まちづくり協議会は地域住民の安心安全に気をつけながらも、地域力を上げる取り組みを地域全体で進めていきたいと前向きに考えています。

さらなる地域力アップをめざして、無理せず、仲良く、これからもみんなでがんばります！

振休ふれあいパーク（子ども部会）



防災研修会（生活環境部会）R2.11.25



諸富町まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・ こどもフェスタ（6月）
- ・ 夏休みラジオ体操の推進（7・8月）
- ・ 夏の祭典 in もろどみ（7月）
- ・ 防災訓練（11月）
- ・ ボランティア養成講座（12月）
- ・ 子ども（児童生徒）及び高齢者見守り「各地域ごとに実施」

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

コロナ禍で、ほとんどの行事・催しを中止か延期にしている（どこの校区も同じだと思う）が、児童生徒の登校時の見守り、在宅高齢者の見守り（あんしんネットワーク）は各地域内で、自治会を中心に連絡会などを実施して事故の無い地域づくりを行っている。

今年は特に、高齢者の交通事故が全国的に問題視され、我が町においても車の免許証の返納等で外出が減り、買い物等に困る高齢者が多くなっている。

それにより、家に閉じこもりの高齢者が増加し、健康問題（認知症等）が心配されているので、一人暮らし、高齢者のみの世帯（75歳以上）を対象に外出支援に関するアンケートを実施した。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

外出支援に関するアンケートの配布並びに回収については、自治会に協力いただき、80.5%という高い回収率となった。

それを受け、来年度は高齢者が地域で楽しく生活できる「まちづくり」支援を考えたい。

行政としても、この問題は佐賀市32校区において抱えている問題と思うので、予算の有効活用にも縦割り行政政策でなく、横のつながりのある政策を打ち出していきたい。

高齢者の問題・子供の問題・産業の問題等、全てに各部局の予算の分捕りでなく、対象者は地域住民であるから条例が、規則が、要綱がでなく、各部局が繋がりを以て総合計画を作る段階で取り組みばできると思う。（やれないことを前提に考えれば、できない。やることを前提に考えれば、できる。）

もっとまち協に事業補助を付けて、まち協を利用するべきと考える。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

町民の皆さんは諸富町が好きですよネ。我々の町が住みやすく、活性化することを望んでいます。まちづくり協議会が出来て、どうすればよいかわからなかったことも、少しずつ見えるようになってきたと思います。これからいろんな方面で意見交換をしながら皆の町を盛り上げていきましょう。

徐福さくら健康ウォーキング（平成30年）



見守り隊によるあいさつ運動



春日まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

健康福祉部会、環境歴史文化部会、安心安全部会、子ども育成部会の4部会と女性部で構成され活動している。

〈主にやっている活動〉

- 5月 みんなができるスポーツ大会
- 11月 春日の郷ふれあい祭り・浮立
- 11月 イルミネーション点灯

〈地域の魅力自慢〉

春日校区（大和町）は歴史的に貴重なもの（国分寺跡、国分尼寺跡、肥前国庁跡 等）が多く存在している。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・令和2年度総会は書面決議。
- ・春日の郷ふれあい祭り・浮立は中止にしたが、例年より規模を縮小して「小さな作品展」として、作品展示のみ行った。
- ・みんなができるスポーツ大会及びカフェ事業は中止。
- ・新型コロナウイルス感染症対策ができる事業（ポッチャ教室、ノルディックウォーキング教室、防災講和、あいさつ運動等）は実施。
- ・11月28日（土）イルミネーション点灯式は、マスク着用や検温・手指の消毒を呼びかけ、密を避けることを留意し、屋外で実施。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・蛍復元事業（湧水清流が流れる春日のまちに蛍の復元）
- ・校区住民の集いの場、活動の拠点である公民館の利用促進

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナ禍みんなで頑張りましょう！！

イルミネーション点灯式 11月28日（土）

子どもたちも作製に参加



健康福祉部会教室（ポッチャ・ノルディックウォーキン



ポッチャ教室



ノルディックウォーキング

春日北まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

春日北まちづくり協議会は、「絆 ～つながり 支え愛 みんな笑顔の春日北～」をスローガンに平成27年3月に発足しました。5つの専門部会「自然・文化部会」、「子ども育成部会」、「健康・福祉部会」、「安全・安心部会」、「人のつながり部会」を設置し、豊かで住みよい地域づくりを目指して日々活動しています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・夏季に予定していた「かすが北まつり」の開催を断腸の思いで断念しました。
- ・今年度は、3密対策を行い下記のイベントを開催しました。
 - ① 防災講座「HUG」、② 納涼ミニミニ花火大会、③ お月見会、④ 餅まき・こども縁日、⑤ 花だん活動 他
- ・第2回春日北校区文化祭（作品展示とビデオ上映形式での舞台発表会）を2月に開催する予定です。
- ・新型コロナウイルス感染症が拡大している中、役員会等の会議開催にあたって、感染症対策（マスク着用、手指消毒、換気、レイアウトの工夫、時間短縮）を徹底しています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今年度のこの状況下でどのような活動を行ったのか、他のまちづくり協議会の方々に聞いてみたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

新型コロナに負けず、みんなの力で一歩ずつ進んで行きましょう！

第5回かすが北まつりの様子（令和元年）



餅まき・こども縁日の様子（令和2年度）



川上校区まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

地域の目標「夢プラン」を実現するための組織として、平成24年9月に川上校区まちづくり協議会が発足して8年が経過しました。この間、色々な取り組みをしてきましたが、代表的な取り組みとして高齢者送迎サービス「かわかみ・絆の会」を平成27年に立ち上げ、高齢者の通院や社会参加などの移動手手段の確保やゴミ出し、買い物代行などちょっとした生活支援を行っています。

また、介護予防講座として、脳イキイキ教室・ストップロコモ体操・音楽サロン・元気アップ教室などに取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

新型コロナ対策で中止または、延期を余儀なくした部会活動もありましたが、一段と進む巣ごもりなどへの対応のためにも、感染予防対策の徹底を図りながら事業の継続を続けてまいりました。屋内での取り組みには予防対策の徹底、屋外では密にならない事業として、これまでも行ってきたフットパス（年4回）、野菜作りと収穫を楽しむ家庭菜園（春と秋の年2回）は予定通りの取り組みとなりました。川上ふれあい祭りは、屋内、屋外でのイベントのため密になりやすく不特定多数の人出が予想されることから中止の決定となりました。

また、閉塞感漂う中、自宅で過ごす時間からちょっとだけ外出し、解放感と楽しみを作っていたくために幅広い層（子どもからお年寄りまで）を対象とした川上校区挙げての第1回風揚げ大会（実行委員会組織「まち協他7団体」）を嘉瀬川河川敷で、1月に実施することとなりました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

◎ 校区運動会と小学校の運動会を合同で開催することの取り組み。

（理由として）

1. 運動会を合同で行うことで地域と学校とのつながりができる。（地域と学校との連携）
2. 地域・学校・家庭でも、子どもが安全で安心して暮らすことができるまちづくりにつながる。
3. 価値観の違いなど、多様性を持つ若い層との交流を図ることで、地域行事へ協働として取り込みのきっかけになる。
4. 学校と社会を自由に行き来する環境作りとなる。

◎ 高齢化によるミカン農家の廃業に伴い、管理だけを農家にお願ひし、オーナー制の導入。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

新型コロナウイルスの影響もあって、「外出の機会が少なくなった」、「筋力の低下が気になる」という方は、まちづくり協議会で活動している介護予防講座（脳いきいき教室・ストップロコモ体操・音楽サロン・元気アップ教室）を一度覗いてみませんか。

連絡先：62-5775（川上校区公民館）

フットパス 実相院仁王門にて（令和2年）



野菜作りと収穫を楽しむ家庭菜園（令和2年）



松梅まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・ 3年目を迎えたまち協です。「自然豊かで 共に支えあうまち 松梅」をモットーに、「豊かですみよい地域づくり」に取り組んでおります。
- ・ ホタル研究会は、季節になると、日々の状況の確認に奔走されている。
- ・ 松梅学では在住者が、郷土松梅の歴史・史跡等について学び、郷土愛の育成に取り組む。
- ・ 松梅の四季を写真に収めた、「松梅ふるさとカレンダー」の作成。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・ 総会を、書面議決により行なった。
- ・ 主なイベントの中止（松梅かかし祭り、干し柿づくり体験ツアー、お月見会等）。
- ・ イベント事業は中止したが、松梅学はネット環境を利用して取り組んだ。
- ・ 役員会、委員会等の会議はコロナウイルス感染症に注意して行なっている。
- ・ 人が集まる防災訓練等は、密を避けるために地区を分けて取り組んだ。
- ・ コロナ禍の中でも、地域の干柿、小葱、米等、農産物が豊富で、道の駅での販売が好調。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・ コロナ終息後の来年度のイベント事業等は、今年度実施できなかった分、盛り上げて行きたい。
- ・ 「松梅ふるさとカレンダー」作成の為に、校区内の様々な風景やイベント等の写真を多くの方から提供してもらいたい。また、地域の情報を「つながる松梅」に多く載せるため、たくさんの方に協力して欲しい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

- ・ 雨にも負けず コロナにも負けぬ 強靱な地域を目指し
健康に気をつけて 丈夫な体をつくり 明るい松梅を目指していこう！

名尾地区合同防災訓練（R2.11.3）



2021年 松梅ふるさとカレンダー



富士町（富士まちづくり準備委員会）

団体の紹介や主な活動等

富士町は、脊振山系、天山山系の山ふところに抱かれた静かな山里です。温泉や豊かな自然を活かし、古湯映画祭、富士しゃくなげ湖ハーフマラソン、花火大会など、住民と来訪者が交流できるイベントなどを開催しています。

また、昨年10月にまちづくり準備委員会を立ち上げ、まちづくり協議会の設立に向けて協議を進めています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・古湯映画祭をはじめとしたイベントの多くが中止となりました。
- ・富士町民体育祭は中止となりましたが、代わりに規模を縮小して、軽スポーツを楽しむ町民スポーツデーを開催しました。
- ・富士まちづくり準備委員会では、山口市阿東地福地区の取組に関するオンラインでの視察研修を開催しました。
- ・小学5年生以上の住民を対象として、まちづくりに関するアンケートを実施しています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

まずは、住民が将来のまちづくりについて話し合う座談会を開催し、夢プランの策定とまちづくり協議会の設立に向けて取り組んでいきます。

まちづくり協議会が設立した際には、他校区のまちづくり協議会と交流ができればと思います。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

地域で協力し、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指して、まちづくり協議会の設立に向けて進んでいきます。

今後、座談会を開催しますので、多くの皆さんに参加していただき、富士町の将来について語り合いましょう。

町民スポーツデー



まちづくり準備委員会（オンライン研修）



三瀬村

団体の紹介や主な活動等

三瀬村は、脊振山系のふもとにある標高400mを超えるのどかで観光と農業が盛んな中山間地域です。隣県の福岡からは、国道263号の三瀬トンネルや三瀬峠を越え、三瀬のロケーションや癒しを求めて観光客も多く訪れます。

平成19年からは三瀬村の店舗が参加する「みつせ高原キャンペーン」を開催し、地域ぐるみで三瀬村のPRを行っています。みつせ高原の爽やかな自然の中で元気においしく育ったブルーベリーやリンゴ、栗など収穫体験もできます。

近年は、三瀬村の最大のお祭り「三瀬村田舎と都市のふれあい祭り」と野外音楽イベント『みつせポップジャム』を同時開催しています。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・同時開催予定だった「三瀬村田舎と都市のふれあい祭り」が中止となったことで、コロナ感染症対策のため『みつせポップジャム』を無観客でインターネットでのLIVE配信を行いました。（2020.11.14 配信済）
- ・ポップジャム開催会場では、スタッフはマスクを着用し、出演者の入れ替わる時間を利用して換気を行い、コロナ対策を徹底しました。
- ・換気の時間を活用し、予め編集した三瀬村の店舗（みつせ高原キャンペーン加盟店）のPR動画を配信するなど地域情報も発信しました。
- ・初めてのLIVE配信の試みであったことから例年より実行委員会の開催回数は増えましたが、LINEやメールで情報共有をする等、対面での会議を少なくするように努めました。

三瀬村田舎と都市のふれあい祭の様子
（令和元年度）



野外音楽イベント・みつせポップジャム
の様子（令和元年度）



南川副まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・地域の魅力自慢：有明海沿岸部での海苔の養殖や干拓地における米、大豆、小麦などの栽培。佐賀空港とその東にはコスモス園がある。川副町のキャッチフレーズは『空港都市-エアフロントシティ川副』、快適な町、豊かな町、和やかな町』。海童神社は航海漁業や農業、商工業、諸産業の守護神。4月春祭り、7月夏祭り、10月は海童神社秋祭り奉納浮立。
- ・主な活動：毎年3月に総力を結集した最大のイベント「あつまろう祭」。その他、環境美化活動として「河川清掃」。健康づくりを目指して健康ウォーク。子どもたちに地域の自然と歴史を教える「さるく会」。歴史と伝統で絆を深めるために「海童神社秋祭り子ども浮立」など。これらの活動を通して、地域と世代間を繋ぎ、より良いまちづくりに取り組んでいる。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・昨年3月20日の「あつまろう祭」は新型コロナ感染拡大を考慮して中止した。
- ・今年度は春頃から県内の感染状況を見つつ、3密を避ける対策をしながら取組を開始した。
- ・8月1日校区一斉ラジオ体操は参加者の検温と消毒を徹底して開催した（昨年並みの参加）。
- ・その他、規模縮小と3密を避け、検温と消毒を実施しながら昨年並みの取組を行っている。
- ・県内で新型コロナの爆発的な感染がない限りは、現在のような感染拡大防止策を取りながら、取組みを進めていきたいと考えている。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・コロナ禍の中でこれまでと同じような取組みはできない。まずは、コロナの感染を防ぐことを最優先にして、これまでの取組み内容をコロナ禍バージョンにして実施していきたいと考えている。
- ・その上で、他の団体などとの共催を検討していきたい。
- ・まち協が色々な取組みをする中で、新型コロナ感染拡大を防止するうえでのガイドラインがあれば示していただきたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

新型コロナウイルスの感染によって、当たり前だった日常に制限がかかり、以前と同じように寄り添うことが難しくなりましたが、コロナ禍に応じた新たな発想を生み出すチャンスです。柔軟な発想と転換で「ピンチをチャンスに変えましょう」

令和2年8月1日校区一斉ラジオ体操



各部会の活動



西川副まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- 6部会が年間活動計画を立案し、スローガンに掲げた目標に向け活動している
- 年1回恒例の西川副きずな祭の実施
- 地域元気アップ事業の実施
 - ・ 通学合宿
 - ・ 夏休み宿題お助け隊
 - ・ 小学校の子ども達への農業体験学習支援（さつまいも、じゃがいも、大豆の栽培等）

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- 夏頃まで各部会とも活動自粛、現在は3密を避けながら実施している
- 今年3月のきずな祭は感染防止対策をとりながら行うことを実行委員会で予定している
 - ・ 屋外でのみ開催（雨天中止）
 - ・ 受付での検温、手指消毒、マスク着用、抽選会への住所氏名の記入
 - ・ 来場記念品として「まち協マスク」の配布
 - ・ 開催時間を午前中のみ短縮
 - ・ 集まらない抽選会（地元産の海苔、米、いちごなどの10品目200セット準備）
 - ・ 会場内飲食を控える

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- 他のまち協が後継者育成のために行っている活動を教えてほしい
- 他の市町のどのような団体が「まちづくり」に携わっているのか、またどんな活動をされているのか知りたい
- つながるさがしアクセス数が常に断トツの「つながる川上」をぜひ視察してみたい

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

コロナ禍の時代ですが、まち協はしっかり感染防止対策をとりながら、今後も活動していきます。各部会の行事は自治会の班回覧や公民館だよりで案内していきますので、ぜひ参加してください。

きずな祭



農業体験学習



博愛の里中川副まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

私たちのまちづくり協議会は、地域の歴史と伝統を守り伝える町（歴史・伝統部会）、皆が安心できる暮らしを守る町（安全・安心部会）、高齢者が元気な町（健康・福祉部会）、子どもの笑顔あふれる町（子ども育成部会）、四季のうつろいを大切に、絆を深め活気ある町（地域の絆 自然・環境部会）を目指す、中川副校区夢プランの実現に向けて 5 つの部会を組織し、「ともに（輪）語り、ともに（輪）笑い・学ぶ・体を動かす」場を提供することを目的に活動しております。

○**歴史・伝統部会**では、地域に埋もれた歴史遺産、時代を超えて伝わる慣わしを再確認し、次の子どもたちに伝えることを目的に活動を行っています。佐野記念公園清掃活動 歴史・健康ウォーキング 歴史講座 歴史探訪研修 小学校での講演（三重津かるた）などが主な活動です。

○**健康・福祉部会**では、みんなが元気に安心して暮らしていける町をめざして、「ひとり暮らし高齢者への緊急カードの作成・配布」、「健康ウォーキング」、「元気で長生き健康 UP 教室の開催」「皆で楽しむ観劇会」などを行っています。

○**安心・安全部会**では、暮らしを守る「身の回りの安全点検」、「子どもたちの通学時の交通安全・防犯見守り」、「安全講演会の開催」などを行っています。

○**子ども育成部会**では、子供達を地域で見守り育てることで、中川副小学校、博愛こども園の校外活動に積極的に参加をしております。もちつき大会、ふるさとボランティア活動、運動会、昔遊びなどが主な活動です。

○**絆部会**では、年齢を問わず地域の皆が参加して、軽スポーツを通して体を動かし健康な心身を養成し、輪（話）を造りだすことを目的に活動を行っています。春・秋のふれあいレクリエーション大会 校区ラジオ体操会などが主な活動です。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

コロナ禍の中での活動に苦慮している。定例的な行事も、縮小、据え置き延期などにならざるを得ない。このような現状の中、各部会では、①三密を避ける、②手指の消毒、③体温測定の徹底、これら基本を守った活動を計画・実施をしている。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

協議会の認定後、数年を経過しており「地域夢プラン」の実現に近づくことが出来たかを検証し、新しい「夢プラン」の策定を模索したい。また、今を引き継ぐ人材の育成に取り組みたい。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

まちづくりの新しい拠点、公民館もできました。 駐車場もゆったりです。 もっと、もっと公民館に来てください。まずは、あなたから。 みんなの力で「コロナ」に立ち向かいましょう。

歴史探訪・健康ウォーキング



早都栄祭り



大詫間まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・平成29年7月に発足して4年目となり、現在二代目となる役員が頑張っています。
- ・「新春にわか劇場」、「大詫間カラオケ大会」「夏休みふれあい体験合宿」などの恒例のイベントのほか、「大詫間の歴史・文化ふれあいマップ」や「大詫間版安全・安心マップ」を作成中です。
- ・また隣接する福岡県大野島地区と親善グランドゴルフ大会などの交流事業に取り組んでいます。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・三密防止など感染防止対策を講じるにしても屋内での交流イベントの開催には不安が残ります。
- ・このため、屋外でのイベントとして新たに「住民グラウンドゴルフ大会」を開催したり、今後の活動に備えて、「地域の歴史マップ」や「安全・安心マップ」の作成に取り組んでいます。
- ・また、イベントのように直接の交流はありませんが、地域の絆の醸成につながる取り組みとして、独り暮らしの高齢者宅に「緊急連絡カード」を配置することを企画しています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

- ・住民の皆さんの地域への誇りや愛着を醸成するためには、他の地域を訪問し、その歴史や文化などを知ることもよききっかけになると思います。また逆に、他の地域から訪問をいただくことで自分の地域の良い所に気づくこともあると思います。「大詫間の歴史・文化ふれあいマップ」が完成したら、他の地域とお互いに訪問しあうこともやってみたいと思います。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

- ・昨年8月に地域の全世帯（約450世帯）に「まち協アンケート調査」を実施しました。85%の回収率で、たくさんのご意見をいただきました。設立4年目となった「まち協」の存在を3分の2の方が知っているという一方、「活動内容はまだまだ住民に知られていない。もっと多くの住民が参加し、イベントのほか地域の困りごとにも取り組んでほしい。」という、身に余る期待の声をいただきました。将来の子どもたちのために、一緒にまちづくりに取り組んでいきましょう。

夏休みふれあい体験合宿（元年度）



大川市大野島との県境の案内板除幕式（2年度）



東与賀まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

○地域の魅力

東与賀海岸に群生する塩生植物シチメンソウは、晩秋になると海岸に紅い絨毯を広げたように鮮やかに紅葉し、「海の紅葉」と呼ばれ、晩秋の風物詩となっています。この時期に地域の農業・水産業・商業を広く紹介し、観光の発展と地域の活性化を図るために毎年「シチメンソウまつり」を開催しています。

今年は、コロナ禍で残念ながら開催することができませんでしたが、東与賀海岸や東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」には沢山の来場者があり賑わいを見せました。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

東よか干潟の価値や魅力を発信していくために、ラムサール条約湿地の理念である3本の柱（保全・再生、ワイズユース、交流・学習）を基軸に、コロナ禍にあっても野外活動は影響が少ないと言われることから、海岸保全活動や東よか干潟の自然観察会（東与賀小・中学）等については、これまで通り取り組んできました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

東与賀干潟よか公園等で開催される、地域以外の各種団体とコラボをして地域の活性化に繋いでいければと思っています。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

～自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち 東与賀～

東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」が10月20日にオープンしました。

この施設には東よか干潟の特徴である渡り鳥や干潟の生き物、シチメンソウの他、佐賀海苔の養殖やムツゴロウ漁等の解説展示、シアターによる上映等を通じて、世界に認められた東よか干潟の価値や魅力を発信し、将来にわたる東よか干潟や有明海の自然環境の保全、子どもたちの環境学習が促進される展示となっています。

展望塔からのパノラマの景色は素晴らしく、南側の窓からは有明海の広大な干潟やシチメンソウを観ることができ、遠望には雲仙普賢岳・多良岳山景観は最高です。北側の窓からはのどかな佐賀平野が一望できます。

東よか干潟付近の農地では、長年、多くの農家が農薬や化学肥料を減らしてお米づくりを行ってきました。その取り組みが東与賀の豊かな美しい自然を残し、そこは、毎年渡ってくるシギなど多くの野鳥たちの憩いの地となりました。そして東よか干潟は、ラムサール条約湿地に登録されました。

この豊かで美しい東与賀で永続的な共生を育むために生まれたブランド米、「シギの恩返し米」が地域の特産品としてあります。

シチメンソウまつりの様子(2015)



夕暮れコンサート&十五夜を観る会



久保田まちづくり協議会

団体の紹介や主な活動等

- ・ 6 部会《防災・防犯 ふれあい活動 自然環境 くぼた活性化 子ども育成 健康福祉》
 - ◎防災・防犯部会は、特に子ども達の見守り、パトロールは学校からも頼られる存在です。
 - ◎ふれあい活動部会の町民体育祭は、約 1,500 人以上の参加がありにぎわいます。
 - ◎自然環境部会の、ふれあい親子釣り大会・花づくり教室も年々参加者が増え、花づくりでは、人数制限もするほどです。
 - ◎くぼた活性化部会での餅つき会は、園児に大好評です。
 - ◎子ども育成部会は、思齊の郷まつりのまとめ役として大活躍です。
 - ◎健康福祉部会は、さるこうカーの運行、町民一斉ラジオ体操会等々大活躍です。
- 月 1 回の役員会議では、こうした活動の協力依頼、結果、お礼等 議題満載です。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

- ・ 月 1 回の会議は、マスク、消毒液を準備。
- ・ 市からの指導や世の中の情勢をみて、来年まで延期とした行事も色々ありましたが、マスク着用・手の消毒徹底で、毎月の久保田塾や 8/30（日）のふれあい親子釣り大会、10/21（水）久保田町民グラウンドゴルフ大会、10/30（金）第 1 回嘉瀬・久保田・鍋島 3 校区親睦グラウンドゴルフ大会は、たいへんにぎわいました。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

これまで行ってきた活動は、たいへん素晴らしい活動です。しかし、そのままではなく、もっとより良い方向へみんなで見守りを出し合い進化させていきたいと考えます。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

どんな時でも前を向いて頑張りましょう ♡

ふれあい親子釣り大会（8/30）



久保田町民グラウンドゴルフ大会（10/21）



特定非営利活動法人 空家・空地活用サポート SAGA

団体の紹介や主な活動等

【活動内容】

- 空家・空地に関する調査、提案、相談支援
- 空家・空地の維持管理等 • 空家対策の各種講演
- 佐賀空き家「円卓会議」開催 • 住宅確保要配慮者支援 • 空家・賃貸住宅のサブリース
- シェアハウス・シェアオフィスの運営 • 死後事務委任プラットフォーム • 災害支援
- 不動産の遺贈・寄贈・寄付の窓口 • 不動産事業（宅地建物取引業）など

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

・『空家問題解決方法』の一環として取り組んだ、外国人女子留学生用シェアハウス『からふる』については、産学連携にてリノベーションに取り組んだ、全国的に見ても先進的なケースで、注目度も高く、入居者も決まっていたが、コロナの流行で留学生が入国できずキャンセルとなりました。また、コロナ過での、失業等で増えている、貧困層の居住支援を行う上で、行政福祉部局・社協・自立支援センター・不動産業者・空き家オーナー等との連携を強化して実績を増やしている。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

今後、クラウドファンディング等でのシェアハウス改装資金の調達や、貧困者の入居資金や見守り資金に利用できる『基金』の創設を考えております。
また、他の団体との協働は、これまで以上に、エリアマネジメント協議会や災害支援（SPF）、居住支援のためのネットワークを充実させていきたいと思っております。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

留学生用のシェアハウス「からふる」



佐賀空き家「円卓会議」開催の様子



佐賀災害支援プラットフォーム

団体の紹介や主な活動等

佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）とは被災地支援のためにアクションを起こしたい佐賀県民または同県に所縁のある者が、それぞれに活動をし、その情報交換や協力をするために集った「想いのプラットフォーム」です。県内外への被災地域へ、人・もの・お金を仲介する活動を行っています。災害発生時には賛同団体に呼びかけ、情報共有会議を開催。県内外からの支援団体を集めて、情報を共有しマッチングなどを行う。賛同団体に呼びかけ直接支援を行うこともあります。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、オンラインでの定例会の開催など。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

佐賀県の自治体との協定締結（現在締結済は佐賀県、佐賀市、JC、白石町、大町町）佐賀県のNPO、CSOなどを巻き込んで賛同団体を増やし、災害時に連携を取りやすい環境を作る。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

全国で最もNPOの横のつながりが強いのが佐賀県だと思っています。そのネットワークを生かし、佐賀地域の防災力強化の為、尽力してまいります！

JC（佐賀青年会議所）との協定式



災害時の情報共有会議（はがくれ会議）



佐賀子ども劇場

団体の紹介や主な活動等

子ども劇場は 1966 年に福岡市に初めて誕生し、その 5 年後 1971 年に佐賀子ども劇場が発足しました。

子どもたちが子ども時代を豊かに過ごすことを願って、舞台芸術を鑑賞したり、キャンプやあそび会などの自主活動をしたりして、子どもの成長に必要な「仲間」「空間」「時間」をつくっています。

発足から 50 年間で取り組んだ舞台芸術作品は 400 本以上。キャンプや子ども市などの自主活動は発足当時より途切れることなく取り組み続けてきました。

親子が一緒になって楽しむこと、遊ぶこと、その中で感動することは将来生きる力のもととならなくてはならないものです。

コロナ禍の中での現状（今の状況、工夫していること）

2020 年 3 月～5 月の間は、舞台芸術鑑賞を定期的に行う「例会」やあそび会などは感染拡大予防のため延期しました。2 年近く前から計画していた観たい作品、やりたい活動を中止することはとても辛いことでしたが、いつか必ず開催する強い気持ちで「延期」としました。そして、自粛明けの 11 月には延期していた鑑賞例会を開催することができました。

座席を家族ごとに設けて密にならないようにしたり、入場時の検温、入退場時の消毒をしたりして、感染予防に努めて活動を続けています。会員制のため、0 歳児から大人までの名簿があるので、入場者の連絡先などの把握は問題なくできています。

延期した活動が再開した時の子どもたちの生き生きとした様子に、舞台芸術作品が子どもの成長にはなくてはならないものだ実感しました。

今後も、市や国（文化庁）からの文化芸術活動の継続支援のための補助金などを活用しながら、この活動を持続させていきたいと考えています。

今後取り組みたいこと、他の団体と一緒にやってみたい・協力してほしいこと

私たちが 50 年間続けてきた「プロによる良質な舞台芸術作品の鑑賞」は、密にならなくても心を寄せ合って共に感動したり、共感しあったりすることができます。このことを地域の方々にも体感してほしいと願って、私たちが持つノウハウを活かして、地域や地域で活動している各団体と取り組む「地域公演」をやりたいと考えています。各地域の状況に応じたやり方を、いっしょに考えあいたいです。そこで、「地域公演説明会」を 2021 年 2 月 20 日（土）に開催します。「地域公演ってなんだろう？」と感じた方はぜひご参加ください。また、個別にお問合せも大歓迎です。

地域の方へ向けた応援メッセージなど自由に

地域で活動していられる方々も、コロナ禍で様々な計画を中止せざるを得なかったこととお察しします。その中でも、今できることを共に工夫しあって、みんなが元気になりたいものです。一緒にがんばりましょう。

延期した人形劇開催時の客席の様子



開演前に、観るためのお約束を子どもたちが話します



【連絡先】

住所：佐賀市朝日町 5-52 電話：0952-23-6797 Email：s.kodomo.1971@gmail.com

佐賀市 地域振興部 協働推進課・公民館支援課

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1-12 佐賀商工ビル7F

T E L	協働推進課	市民活動推進係	0952-40-7078
		地域コミュニティ室	0952-40-7039
	公民館支援課	公民館支援係	0952-40-7370
		施設整備係	0952-40-7366

F A X 0952-40-7385

E-Mail 協働推進課 kyodo@city.saga.lg.jp

公民館支援課 kominkan@city.saga.lg.jp

H P <http://www.city.saga.lg.jp>